

# 1 令和6年度 富山市民学習センター概要

## (1) 施設概要

- ① 所在地 富山市大手町6番14号
- ② 施設 富山市民プラザ 3階・4階 1,454.57㎡ (440.7坪)
- ③ 設置 昭和55年4月 社会教育センター  
平成2年4月 市民学習センターに名称変更
- ④ 開館日時 午前9時～午後5時 (日曜・祝日・振替休日・年末年始は休館)
- ⑤ 施設内容

	区 分	面 積	収容人数
3階	子どものアトリエ	65.27 m <sup>2</sup>	16 人
	ア ト リ エ	89.06 m <sup>2</sup>	32 人
	アートライブラリー	102.64 m <sup>2</sup>	24 人
	調 理 室	68.40 m <sup>2</sup>	24 人
	事 務 室 等	360.39 m <sup>2</sup>	20 人
	計	685.76 m <sup>2</sup>	116 人
4階	講 義 室 1	151.30 m <sup>2</sup>	70 人
	講 義 室 2	83.70 m <sup>2</sup>	28 人
	講 義 室 3	70.20 m <sup>2</sup>	30 人
	サークル室 1	33.68 m <sup>2</sup>	16 人
	サークル室 2	28.63 m <sup>2</sup>	12 人
	サークル室 3	28.63 m <sup>2</sup>	12 人
	サークル室 4	33.68 m <sup>2</sup>	16 人
	サークル室 5	33.68 m <sup>2</sup>	6 人
	控 え 室・倉 庫 等	199.84 m <sup>2</sup>	5 人
計	663.34 m <sup>2</sup>	195 人	
地 下 倉 庫	105.47 m <sup>2</sup>		

## ◎ 富山市民大学陶芸実習施設 (花木)

- ① 所在地 富山市花木28
- ② 面積 106.86㎡ (32.4坪)
- ③ 設置 平成25年3月
- ④ 開館日 富山市民大学陶芸コース開設日のみ
- ⑤ 施設内容

	区 分	面 積	収容人数
1階	学 習 ス ペ ース	64.03 m <sup>2</sup>	12 人
	窯 室	16.51 m <sup>2</sup>	
	ホ ー ル そ の 他	26.32 m <sup>2</sup>	
	計	106.86 m <sup>2</sup>	12 人

## (2) 事業概要

区分	事業趣旨・内容等	R5年度実績
学習機 会の 拡 充	市民の生涯学習を支援するため、系統のかつ継続的な学習機会を提供する。 ◇受講者数 1,733人 ◇出席延べ人数 14,516人 (544回) ◇コース数 53コース ・一般 38コース ・創作 9コース ・プラネット 6コース	1,685人 13,395人 (543回) 全53コース 37コース 9コース 7コース
	市民の誰もが学ぶ意欲を育み、生きがいを見出すことができるよう多様な学習機会を提供し、世代を超え生涯学習への認識を高める。 ◇特別講演会 年4回 (470人) ◇特別講義 年5回 (263人) ◇富山市民大学祭 3日間 (1,313人) ◇わくわくキッズ教室 (夏・冬休み) 年6回 (70組 154人) ◇学報、叢書の刊行 学報1冊、叢書1冊	年4回 (507人) 年5回 (251人) 3日間 (1,260人) 6回 (64組 141人) 学報1冊、叢書1冊
生涯学習 団体等 支援	学習団体・サークル等に学習の場を提供し、市民の学習活動を支援する。 ◇各種学習団体・サークルへの支援 ・市民学習センター (市民プラザ内) 23サークル ◇富山市民大学学友会への支援 ・市民大学受講者の親睦と連携意識を育むとともに、自主的な活動による学習の支援を図る。	24サークル
生涯 学習 情報 提供 ・ 相談	学習活動を推進するため、学習内容・方法・プログラムの企画立案及び講師紹介等の相談業務を行う。 学習相談時間 月～金曜日 9:00～17:00 学習相談・情報提供件数 32件 (1月末現在) ◇富山市ホームページによる情報提供 ◇富山県生涯学習情報提供 (とやま学遊ネットワーク)	115件

### (3) 1年のあゆみ

月 ・ 日	事 項
令和6年	
4/4～4/6	富山市民大学受講手続き及び追加募集、学友会入会手続き
4/17	令和6年度富山市民大学開講式・特別講演会 「南極観測越冬隊の1年間～地球の裏側で、どうモチベーションを維持し続けたか～」 富山地方気象台 リスクコミュニケーション推進官 木津 暢彦 氏
4/23	富山市民大学コース スタート
8/5～8/9	夏休みわくわくキッズ教室（全5講座）
9/30	「叢書96号」発刊
11/3	山田地域文化祭特別講演会 「～笑いは健康の特効薬～」 ※文化祭は、山田公民館主催 落語家 桂 米福 氏
11/26	富山市民大学 全コース終了
11/28～11/30	第44回富山市民大学祭
(11/28)	公開講座 「健康寿命延長と和漢薬」 富山大学和漢医薬学総合研究所 教授 / 副所長 東田 千尋 氏
(11/30)	特別講演会 「地域と共に生きる 伝統産業の取り組み」 株式会社能作 代表取締役会長 能作 克治 氏
12/25	冬休みわくわくキッズ教室（1講座）
令和7年	
1/10～1/22	特別講義（5講義）
1/30	富山市民大学閉講式・特別講演会 「命の授業 ～ドリー夢メーカーと今を生きる～」 講演家 腰塚 勇人 氏
2/14	富山市市民学習センター運営協議会
3/3～3/5	令和7年度富山市民大学受講申込み受付
3/31	「学報2024」発刊

#### (4) 富山市民大学開設一覽

##### ○令和6年度(2024)【第47回】

	コース名	定員	受講者数	修了者数
	富山の環境ー過去・現在・未来ー	25	15	9
	富山のまちー持続可能なまちづくりー	25	14	11
	立山黒部ジオパークを知る	60	52	38
	郷土の歴史	60	70	55
	地域の歴史遺産を巡る考古学	60	43	36
	日本の歴史	60	71	52
	世界の歴史	60	60	50
	中国史に学ぶ	60	56	49
	食と住の文化史	25	23	18
	歴史史料をひもとく	25	21	15
	古典歌謡への旅	25	9	7
	おくのほそ道をよむ	25	28	23
	漢詩漢文の世界へ	25	28	21
	古文入門	60	69	61
	江戸時代の文学を読む	25	20	20
	くらしを彩る短歌の楽しみ	25	24	20
	俳句入門	20	24	24
一	川柳を楽しむ	20	17	16
	文学へのいざない	25	19	15
	朗読を楽しもう	20	28	25
般	落語のはなし	140	132	102
	日本の歌、世界の歌	50	41	32
	音楽サロン	60	40	27
	女声合唱	80	75	62
	リコーダー演奏を楽しもう	20	25	22
	世界の国々	60	70	45
	美術の世界	30	35	28
	くらしの中の和漢医薬学	60	38	32
	健康生活の知恵	60	54	45
	豊かな心	130	85	61
	リズム体操	30	40	28
	100歳まで歩こう	30	24	19
	暮らしの実学	60	55	43
	楽しい法律	60	70	55
	郷土の料理	18	19	18
	家庭でできる『やくぜん料理』	18	18	18
	季節の和菓子づくり	12	12	11
	スイーツで O・MO・TE・NA・SHI	12	13	11

	コース名	定員	受講者数	修了者数		
創作	洋画	20	26	18		
	日本画	20	32	28		
	版画	20	12	12		
	切り絵	20	6	4		
	篆刻	20	8	7		
	陶芸	前期	A	12	8	8
			B	12	12	12
		後期	A	12	12	12
			B	12	12	12
	プラネット	富山の郷土玩具”土人形”を作ろう	16	12	11	
日本画(大沢野)		16	16	14		
うまい水のルーツを探る		15	9	9		
手作り銀粘土アクセサリー		前期	12	11	10	
		後期	12	4	3	
飛越往來		15	16	15		
計	53コース	1,894	1,733	1,388		

※受講者数は、受講手続きを行った者の数とする。  
 ※修了者数は、7割以上の出席があった者の数とする。

《参考》

○令和5年度（2023）【第46回】

	コース名	定員	受講者数	修了者数
一 般	富山の環境の未来を学ぶ	25	13	10
	富山のまちのこれからを考える	25	12	8
	立山黒部ジオパークを知る	60	42	29
	郷土の歴史	60	73	53
	墳墓・古墳・お墓の考古学	60	50	40
	富山の民話	25	19	10
	日本の歴史	60	72	48
	世界の歴史	60	70	50
	中国史に学ぶ	60	46	39
	生活文化の歴史	25	12	6
	歴史史料をひもとく	25	23	15
	古典歌謡への旅	25	11	7
	おくのほそ道をよむ	25	20	16
	漢詩漢文の世界へ	25	28	27
	古文入門	25	52	42
	江戸時代の文学を読む	25	27	20
	くらしを彩る短歌の楽しみ	25	22	18
	俳句入門	20	29	24
	川柳を楽しむ	20	19	14
	文学へのいざない	25	25	14
	落語のはなし	140	153	113
	日本の歌、世界の歌	50	49	40
	音楽サロン	60	45	33
	世界の国々	60	72	49
	美術の世界	30	36	26
	生活医学薬学を学ぶ	60	42	35
	健康生活の知恵	60	60	42
	楽しい脳トレーニング	60	36	29
	豊かな心	130	101	76
	リズム体操	30	38	23
	100歳まで歩こう	30	27	16
	暮らしの実学	60	43	34
楽しい法律	60	60	51	
郷土の料理	18	19	17	
家庭でできる『やくぜん料理』	18	20	16	
季節の和菓子づくり	12	12	12	
スイーツでO・MO・TE・NA・SHI	12	12	12	

	コース名	定員	受講者数	修了者数		
創 作	洋画	20	25	24		
	日本画	20	29	28		
	版画	20	15	14		
	切り絵	20	7	5		
	篆刻	20	11	11		
	陶芸	前期	A	10	9	9
			B	10	8	8
		後期	A	10	9	9
			B	10	10	10
	プ ラ ネ ット	富山の郷土玩具“土人形”を作ろう	16	10	9	
日本画（大沢野）		16	16	15		
うまい水のルーツを探る		20	11	8		
現代切り絵		8	3	3		
手作り銀粘土 アクセサリ		前期	12	11	10	
		後期	12	9	9	
飛越往來	15	12	10			
計	53コース	1,829	1,685	1,296		

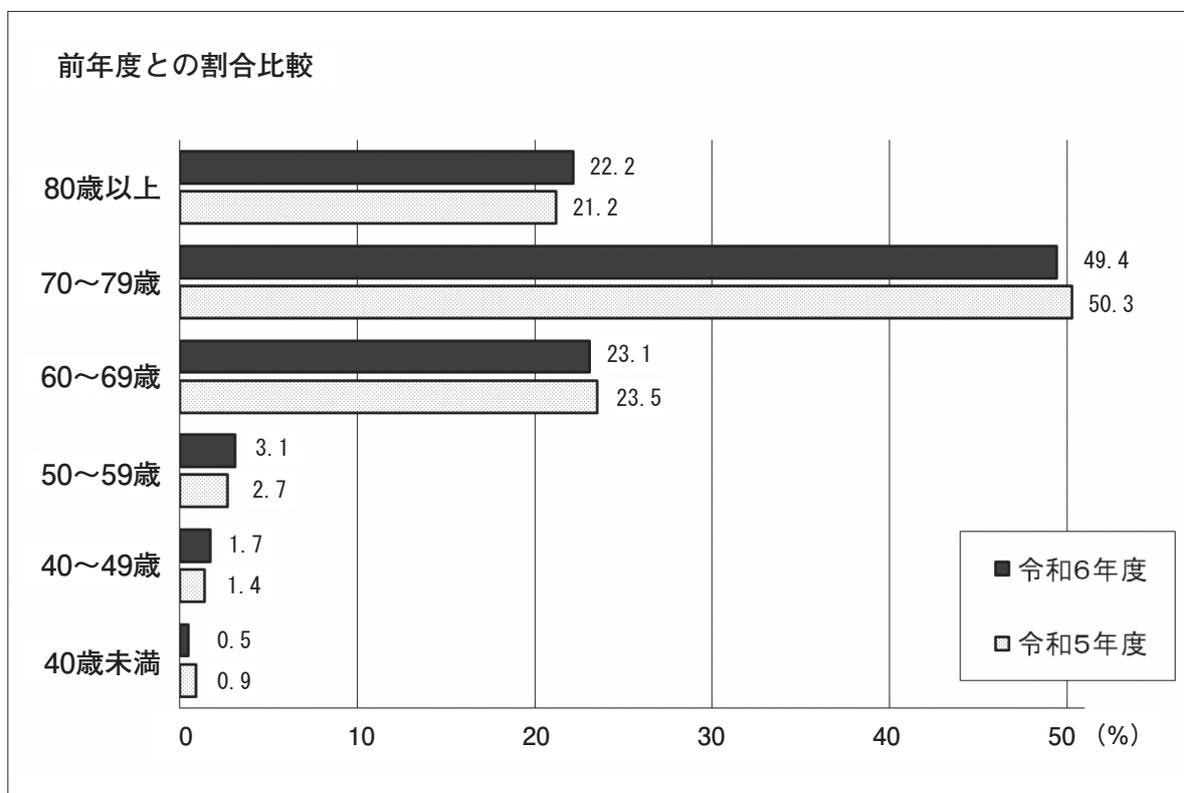
※受講者数は、受講手続きを行った者の数とする。  
 ※修了者数は、7割以上の出席があった者の数とする。

## (5) 富山市民大学受講者年齢構成

### ① 構成比率

年齢構成	受講者全体		累 計	
	人 数	比率%	人 数	比率%
80歳以上	385	22.2	385	22.2
70～79歳	856	49.4	1,241	71.6
60～69歳	400	23.1	1,641	94.7
50～59歳	54	3.1	1,695	97.8
40～49歳	29	1.7	1,724	99.5
40歳未満	9	0.5	1,733	100.0
合 計	1,733	100.0		
平均年齢	72.9 歳			

実人数：1,229人



## ② コース別一覧

コース名		年齢層		80歳以上	70～79歳	60～69歳	50～59歳	40～49歳	40歳未満	合計
一 般	富山の環境ー過去・現在・未来ー			0	6	7	1	1	0	15
	富山のまちー持続可能なまちづくりー			2	7	3	1	0	1	14
	立山黒部ジオパークを知る			13	26	12	1	0	0	52
	郷土の歴史			23	26	20	0	1	0	70
	地域の歴史遺産を巡る考古学			9	27	7	0	0	0	43
	日本の歴史			18	34	17	2	0	0	71
	世界の歴史			12	35	12	1	0	0	60
	中国史に学ぶ			13	30	13	0	0	0	56
	食と住の文化史			4	13	6	0	0	0	23
	歴史史料をひもとく			8	4	9	0	0	0	21
	古典歌謡への旅			4	4	1	0	0	0	9
	おくのほそ道をよむ			7	17	3	1	0	0	28
	漢詩漢文の世界へ			5	16	7	0	0	0	28
	古文入門			12	34	22	1	0	0	69
	江戸時代の文学を読む			7	10	2	1	0	0	20
	くらしを彩る短歌の楽しみ			6	11	7	0	0	0	24
	俳句入門			4	12	8	0	0	0	24
	川柳を楽しむ			4	9	4	0	0	0	17
	文学へのいざない			5	10	3	1	0	0	19
	朗読を楽しもう			1	14	12	1	0	0	28
	落語のはなし			30	75	23	3	1	0	132
	日本の歌、世界の歌			9	26	4	1	1	0	41
	音楽サロン			17	18	5	0	0	0	40
	女声合唱			15	46	10	4	0	0	75
	リコーダー演奏を楽しもう			3	7	13	1	1	0	25
	世界の国々			16	35	17	1	0	1	70
	美術の世界			7	16	10	1	1	0	35
	くらしの中の和漢医薬学			8	20	6	2	1	1	38
	健康生活の知恵			20	30	4	0	0	0	54
	豊かな心			25	44	15	1	0	0	85
	リズム体操			7	24	9	0	0	0	40
	100歳まで歩こう			10	9	5	0	0	0	24
暮らしの実学			14	29	9	1	2	0	55	
楽しい法律			18	31	12	8	1	0	70	
郷土の料理			2	7	6	3	0	1	19	
家庭でできる『やくぜん料理』			3	8	3	3	1	0	18	
季節の和菓子づくり			0	4	7	0	1	0	12	
スイーツでO・MO・TE・NA・SHI			1	5	4	1	2	0	13	
創 作	洋画			7	8	6	1	1	3	26
	日本画			2	16	11	1	2	0	32
	版画			0	7	2	2	1	0	12
	切り絵			1	2	3	0	0	0	6
	篆刻			0	2	5	1	0	0	8
	陶芸	前期	A	0	3	4	1	0	0	8
			B	0	4	3	2	2	1	12
		後期	A	0	4	6	1	1	0	12
			B	0	3	6	1	2	0	12
	プ ラ ネ ッ ト	富山の郷土玩具“土人形”を作ろう			1	2	5	2	2	0
日本画(大沢野)				1	11	3	0	1	0	16
うまい水のルーツを探る				1	5	3	0	0	0	9
手作り銀粘土アクセサリー		前期	1	2	3	1	3	1	11	
		後期	1	1	2	0	0	0	4	
飛越往來			8	7	1	0	0	0	16	
計				385	856	400	54	29	9	1,733

## (6) 生涯学習の啓発

### ① 特別講演会

	日 程	演 題	講 師	会 場	参加人数
1	開 講 式 4月17日(水)	南極観測越冬隊の1年間 ～地球の裏側で、どうモチベー ションを維持し続けたか～	富山地方気象台 リスクコミュニケーション推進官 木津 暢彦	市民プラザ アンサンブルホール	190人
2	プラネット 11月3日(日)	～笑いは健康の特効薬～	落語家 桂 米福	山田公民館	110人
3	大 学 祭 11月30日(土)	地域と共に生きる 伝統産業 の取り組み	株式会社能作 代表取締役会長 能作 克治	市民プラザ アンサンブルホール	60人
4	閉 講 式 R7.1月30日(木)	命の授業 ～ドリー夢メーカーと今を生きる～	講演家 腰塚 勇人	市民プラザ アンサンブルホール	110人
計					470人

### ② 特別講義

(会場：市民学習センター)

回	日 程	講 義 題	講 師	参加人数
1	1月10日(金)	人生100年時代の健康づくり	角川介護予防センター 健康運動指導士 沖 直哉	63人
2	1月15日(水)	災害・相続と法律 ～そのときに備えて～	弁護士 木下 実	62人
3	1月17日(金)	海洋プラスチックごみ対策 ～未来のためにできること～	市環境政策課 課長代理 小林 慶一	32人
4	1月20日(月)	富山県の山城	北陸城郭研究会 会長 佐伯 哲也	66人
5	1月22日(水)	変化する野生動物の分布と生態 ～クマと共存していくには～	立山カルデラ砂防博物館 主任学芸員 白石 俊明	40人
計				263人

### ③ 第44回 富山市民大学祭 ※参加人数 1,313人

(会場：市民プラザ)

日 程	内 容	発表コース・講演内容など
11月28日(木) ～ 11月30日(土)	学 習 発 表 (アトリウム)  作 品 展 (アートギャラリー)	一般・プラネット各コースの学習発表及び学友会活動紹介 のパネル展示  創作コース：洋画・日本画・版画・切り絵・篆刻・陶芸 プラネットコース：富山の郷土玩具“土人形”を作ろう・日本画(大 沢野)・手作り銀粘土アクセサリ
11月28日(木) 午後	公 開 講 座 (アンサンブルホール)	「健康寿命延長と和漢薬」 講師：東田 千尋 (富山大学 和漢医薬学総合研究所 教授/副所長 市民大学「くらしの中の和漢医薬学」コース講師)
11月29日(金) 午後	ス テ ー ジ 発 表 (アンサンブルホール)	女声合唱、リコーダー演奏を楽しもう、朗読を楽しもう、 リズム体操
11月30日(土) 午前	特 別 講 演 会 (アンサンブルホール)	「地域と共に生きる 伝統産業の取り組み」 講師：能作 克治 (株式会社能作 代表取締役会長)

#### ④ わくわくキッズ教室

小学校1年生から3年生までを対象に、親子のコミュニケーションを図りながら、身近にある材料で造形活動を楽しむ講座  
(会場：市民学習センター)

	日 程	内容・コース	指 導 講 師	受講者数
夏 休 み	8月5日(月)	たのしい七宝焼	「シニアライフ講座」七宝焼講師 岡部八穂子	12組 31人
	8月6日(火)	森のクラフト工作	富山県林業カレッジ 松田 秀明 外3名	7組 16人
	8月7日(水)	季節の上生菓子づくり	菓子匠「平安堂」 黒崎のぞみ	15組 31人
	8月8日(木)			13組 27人
	8月9日(金)	土人形の絵付け	土人形制作講師 古川 圭子	13組 26人
冬 休 み	12月25日(水)	たのしい七宝焼	「シニアライフ講座」七宝焼講師 岡部八穂子	10組 23人
計				70組 154人



森のクラフト工作



季節の上生菓子づくり



土人形の絵付け

#### ⑤ 叢書・学報の刊行

- ・叢書 96号「南極観測越冬隊の1年間～地球の裏側で、どうモチベーションを維持し続けたか～」  
令和6年9月発行  
木津 暢彦(富山地方気象台 リスクコミュニケーション推進官)
- ・学報 「学報2024」 令和7年3月発行

#### ⑥ 啓発事業のデジタル化

- ・富山市 LINE 公式アカウントによる情報配信を開始  
配信内容 市民大学の受講申し込み案内、特別講義、特別講演会、  
市民大学祭等の啓発事業の案内



登録用二次元コード

## 2 富山市民大学 学習の記録

### － 開設コース (53 コース) －

#### (1) 一般

No.	コース名	頁
101	富山の環境－過去・現在・未来－	15
102	富山のまち－持続可能なまちづくり－	16
103	立山黒部ジオパークを知る	17
104	郷土の歴史	18
105	地域の歴史遺産を巡る考古学	19
106	日本の歴史	20
107	世界の歴史	21
108	中国史に学ぶ	22
109	食と住の文化史	23
110	歴史史料をひもとく	24
111	古典歌謡への旅	25
112	おくのほそ道をよむ	26
113	漢詩漢文の世界へ	27
114	古文入門	28
115	江戸時代の文学を読む	29
116	くらしを彩る短歌の楽しみ	30
117	俳句入門	31
118	川柳を楽しむ	32
119	文学へのいざない	33
120	朗読を楽しもう	34
121	落語のはなし	35
122	日本の歌、世界の歌	36
123	音楽サロン	37
124	女声合唱	38
125	リコーダー演奏を楽しもう	39
126	世界の国々	40
127	美術の世界	41
128	くらしの中の和漢医薬学	42
129	健康生活の知恵	43
130	豊かな心	44
131	リズム体操	45
132	100歳まで歩こう	46
133	暮らしの実学	47
134	楽しい法律	48
135	郷土の料理	49
136	家庭でできる『やくぜん料理』	50
137	季節の和菓子づくり	51
138	スイーツでO・MO・TE・NA・SHI	52

#### (2) 創作

No.	コース名		頁		
201	洋	画	53		
202	日	本	画	54	
203	版		画	55	
204	切	り	絵	56	
205	篆		刻	57	
206	陶	前	期	A	58
207			B		
208		後	期	A	
209			B		

#### (3) プラネット

No.	コース名		頁
301	富山の郷土玩具“土人形”を作ろう		59
302	日本画(大沢野)		60
303	うまい水のルーツを探る		61
304	手作り銀粘土アクセサリー	前期	62
305		後期	
306	飛越往來		63

## (1) 一般コース

### 101 富山の環境 -過去・現在・未来-

「富山の環境」と聞くと、多くの方が黒部溪谷や富山湾といった雄大な自然を思い浮かべるかもしれませんが、「環境」が何を指すかによってそのイメージは変わります。都市環境、生活環境、教育環境、あるいは食環境など、さまざまな視点から異なる富山の姿が浮かび上がります。

本コースでは、私を含む10名の講師が、それぞれ異なる視点から「富山の環境」について語りました。私の担当テーマは、環境問題の観点から「イタイタイ病から学ぶ土の大切さ」についてでした。イタイタイ病は、神通川のカドミウム汚染によって発生した公害病で、カドミウムに汚染された米を食べ続けた流域の住民が被害に苦しみました。現在では、神通川に清流が甦り、2012年に農地の復元工事も完了、そこで作られる米は基準値を下回る安全なお米となり、美味しい富山の米が収穫されています。しかし、未来はどうでしょうか。神通川はこのまま汚染されることなく、安心・安全な農作物が永続的に生産されるのでしょうか。安心・安全は決して「当たり前」ではなく、誰かの努力によって成り立っているのです。講義では、その努力についていくつかの事例を通してお伝えしました。

今年度も受講者の皆様には、2時間にわたる講義を熱心にご清聴いただきました。示唆に富むご質問を多数いただき、こちら也大いに学びを得る機会となりました。本コースにご参加いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

(蒲池 浩之)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・23(木)	海洋プラスチックごみ対策でつなぐ未来	市環境政策課 課長代理 小林 慶一
2	6・6(木)	変化する気候の中での日本海・富山湾の海洋環境	富山大学学術研究部都市デザイン学系 教授 田口 文明
3	6・20(木)	ゼロカーボンシティ政策でつなぐ未来	市環境政策課 係長 前澤 直人
4	7・4(木)	化石から探る地球環境の変遷 -過去・現在・未来-	富山大学学術研究部都市デザイン学系 教授 佐野 晋一
5	7・18(木)	ふるさと富山の植物を守ろう	富山県中央植物園 園長 中田 政司
6	9・5(木)	富山の動物 変化する分布と生態	富山県立山カルデラ砂防博物館 主任学芸員 白石 俊明
7	9・19(木)	常願寺川の治水と砂防	富山県立山カルデラ砂防博物館 学芸員 是松 慧美
8	10・3(木)	富山の気候と地球温暖化	富山大学学術研究部都市デザイン学系 教授 安永 数明
9	10・24(木)	イタイタイ病から学ぶ土の大切さ	富山大学学術研究部理学系 准教授 蒲池 浩之
10	11・14(木)	富山の雪氷環境	富山大学学術研究部都市デザイン学系 教授 杉浦幸之助

## 102 富山のまち –持続可能なまちづくり–

富山市は3,000m級の立山連峰から流れ出る急流河川の氾濫・洪水など甚大な自然災害を被りましたが、治水事業により田を開拓し、山の恵み、海の恵みにより、まちを創ってきました。江戸時代に入り、「先用後利」で全国に商圏を広げた売薬業は富山を代表する産業に発展し、製薬業にとどまらず、印刷業、情報産業へとつながっていきます。これらの産業がもたらした資本は「治水」から「利水」へと踏み出す原動力となり、電力会社を興し、その電力により重化学、精密機械など製造業が発展していく礎となりました。そして、第2次世界大戦により、98%が焦土化した市街地を復興し、戦後幾多の市町村合併を経て発展を遂げた現在の富山市は、先人の弛まぬ努力の積み重ねにより築き上げられた都市環境であるといえます。

現在、富山市では、将来にわたる人口減少と高齢化に対応した低炭素型の環境に配慮した社会を見据え、「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」を基本方針に全国初の本格的LRTの運行、路面電車環状線化・富山駅南北接続化事業をはじめ、公共交通の強化と公共交通が便利なエリアへの居住誘導、中心市街地の活性化事業など、歩いて暮らせる住環境の形成を目指し事業を展開しています。

不確実な時代のなか、富山の先人たちのまちづくりの活動上に、私たちの「過去・今・未来」に目を向け、社会課題の解決に向けた「富山市型コンパクトシティ政策のこれから」を受講いただければ幸いです。  
(佐伯 哲弥)

回数	月・日（曜）	学 習 題	講 師
1	5・17（金）	富山市型コンパクトシティ政策のこれから ～官民共創による中心市街地の賑わいと歩きたくなるまちづくり～	市まちづくり推進課 主幹 佐伯 哲弥
2	5・31（金）	都市の本来的価値と富山市のまちづくり	早稲田大学 名誉教授 宮口 侗迪
3	6・14（金）	地図から考える富山のまちの昔と今	富山大学学術研究部教育学系 教授 山根 拓
4	7・12（金）	富山の交通 －並行在来線を中心に－	富山高等専門学校国際ビジネス学科 教授 岡本 勝規
5	8・2（金）	富山の港湾と貿易 －中古車輸出を中心に－	
6	9・6（金）	最近の地方公共交通政策の考え方とまちづくり政策	富山国際大学 名誉教授 長尾 治明
7	9・20（金）	富山の商業環境	富山大学学術研究部人文科学系 教授 大西 宏治
8	10・4（金）	【現地学習】 中心市街地の見学－総曲輪・西町・中央通り編－	
9	10・25（金）	【現地学習】 中心市街地の見学－富山駅編－	
10	11・8（金）	富山の農林水産業と食	

### 103 立山黒部ジオパークを知る

ジオパークとは、地質・地形から地球の過去を知り、未来を考えて、活動する場所である。富山市から朝日町までの富山県東部の9市町村と富山湾の一部を含む地域は、「立山黒部ジオパーク」として日本ジオパーク委員会の認定を受けている。立山黒部ジオパーク協会では、標高3,000m級の北アルプスから水深1,000mを超える富山湾の海底まで広がる特異な地域に見られる地質や暮らしに対して、“高低差4,000m ロマン”と題し、子どもから大人までその楽しみ方の情報発信や、地域における活用支援を行っている。

私の担当回では、立山黒部ジオパークのジオサイトの一つである魚津市の山沿いにある「松倉金山跡」を取り上げた。現地に残る“跡”から見えてくる、松倉金山の鉱山としての稼業の様子や、採れた金や銀、その後の精錬に関わる臼などを紹介し、人が大地に積極的に関わり、その資源を活用する過程を知っていただいた。特に、凹みなどの微地形には鉱業や炭焼きなど、人が大地に関わった跡が身近にあることを紹介した。あわせて、砂金および自然の金銀合金（エレクトラム）の実物観察を行った。実際のエレクトラムの強い反射光などを肉眼で観察することで、大地が作り出した鉱物の不思議さの一端を自ら体験していただいた。

本コースでは、地質や地形、文化など様々な切り口から立山黒部ジオパーク内の「地域の宝もの」を紹介した。立山黒部ジオパーク協会や地域の博物館等では、現地見学会や講演会など様々な企画を行っているので、ぜひ現地で大地の恵みを楽しんでほしい。  
(佐藤 真樹)

回数	月・日（曜）	学 習 題	講 師
1	5・22（水）	ジオパークって何？ ー立山黒部ジオパークの概要ー	立山黒部ジオパーク協会 専務理事・事務局長 今堀 喜一
2	6・12（水）	ジオサイト松倉金山跡の“跡”をめぐる	魚津埋没林博物館 学芸員 佐藤 真樹
3	6・26（水）	立山黒部ジオパークの火山とその恵み	富山市科学博物館 主査学芸員 増渕 佳子
4	7・10（水）	立山の地形と氷河	富山県立山カルデラ砂防博物館 学芸課長補佐 福井幸太郎
5	7・24（水）	植物から見た立山黒部ジオパークの 現在・過去・未来	魚津埋没林博物館 館長 石須 秀知
6	8・28（水）	富山平野のジオヒストリー：海と山の攻防	立山黒部ジオパーク協会 学術顧問 竹内 章
7	9・11（水）	立山曼荼羅に描かれた立山の实景と信仰	富山県〔立山博物館〕 副主幹 細木ひとみ
8	9・25（水）	変化する気候の中での富山湾と日本海	富山大学学術研究部都市デザイン学系 教授 田口 文明
9	10・9（水）	黒部の地形と水循環	黒部市吉田科学館 学芸員 野寺 凜
10	10・23（水）	地震がつくる富山の風土	富山県立山カルデラ砂防博物館 学芸課長補佐 丹保 俊哉

## 104 郷土の歴史

江戸時代の八尾町は、富山藩の財政の6割を担うほど裕福な町でした。今回は、当時の先人たちが残してくれた「祭礼曳山」と「おわら風の盆」についてお話ししました。

財力をつぎ込んだ八尾の曳山には、別名彫刻山と呼ばれるように多くの彫り物が嵌め込まれています。そのほとんどは、南砺市の井波彫刻です。各町六台の曳山の代表的な彫刻の題材となっている二十四孝や許由巢父、司馬温公などといった物語を紹介しました。また、彫刻師は彫ることはもちろん、絵を画く能力にも優れていて、井波の彫刻師の家には今でも当時お客さんに提示した素晴らしい下絵が沢山保存されていることもお伝えしました。

「おわら風の盆」は毎年全国から20万人以上の観光客が訪れる行事となっていますが、明治40年頃までは「是は古来の習慣なれども、この文明開化の世にこのような野蛮な風習は廃止したいものだ」と新聞記事で叩かれるほど評判の悪いものでした。が、明治の終わり頃から八尾俳壇が盛んに新作歌詞をつくり、江尻豊治が節を生かした江尻調おわらを確立し、また、大正2年には八尾に相応しい旧おどりが創作されました。大正10年、民謡の全国大会でおわらが優勝し、その名が全国に知れ渡りました。後におわら保存会を結成する川崎順二氏が金沢から八尾町に帰ってきました。おわらを聞いた川崎氏は「おわらちゃほんとにいいもんだ」とつくづく感激したということです。昭和に入り、川崎氏は全財産をおわらにつぎ込み、現在のおわらに発展させていくことになりました。

(嘉藤 稔)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・16(木)	飛越往来と西猪谷関所	猪谷関所館 元館長 舟杉 克巳
2	6・20(木)	八尾の文化～曳山彫刻とおわらの変遷～	富山県民謡越中八尾おわら保存会 資料編集部長 嘉藤 稔
3	7・4(木)	牛ヶ首用水の開削	とやまふるさとの会 顧問 五十嵐 清
4	7・18(木)	打出遺跡と弥生時代の鉄器づくり	市民俗民芸村 主幹学芸員 小黒 智久
5	8・8(木)	前田利長と富山	京都女子大学文学部史学科 講師 萩原 大輔
6	9・5(木)	法隆寺百万塔と富山	市郷土博物館 学芸員 浦畑奈津子
7	9・19(木)	翁久允と富山 一統・戦時中の『高志人』	富山大学学術研究部教養教育学系 准教授 水野真理子
8	10・3(木)	富山の博覧会 一人々は博覧会に何を見たのか	市教育委員会生涯学習課 文化財係長 尾島 志保
9	10・17(木)	全国唯一の奇想天外な2棟の建物 「復原!富山城御涼所と呉羽七面堂」	専門学校職藝学院 学院長・教授 上野 幸夫
10	11・7(木)	市電開業111年	市郷土博物館 館長 坂森 幹浩

## 105 地域の歴史遺産を巡る考古学

令和5年10月23日に文化庁から国史跡相当の埋蔵文化財包蔵地リストが公表され、その中に富山藩主前田家墓所（長岡御廟所）が搭載されました。これを機に市民の方々に市内にある“史跡”についての理解を深めてもらうことを目的として、今年度は、史跡および指定文化財をテーマに講義を行いました。

富山市には、1,044ヶ所の埋蔵文化財包蔵地があり、そのうち29ヶ所が史跡となっています。内訳は、国史跡10ヶ所（直坂遺跡、北代遺跡、安田城跡、王塚・千坊山遺跡群7ヶ所）、県史跡3ヶ所、市史跡16ヶ所です。また、直坂Ⅰ遺跡出土品（県）、水橋地区出土の遮光器土偶や堀Ⅰ遺跡出土遺物（市）は考古資料として指定文化財に認定されています。

各講義では、旧石器時代から江戸時代にわたり、地域にある史跡を中心に概説しながら史跡と周辺の遺跡との関連性などを解説しました。中でも、北代遺跡、安田城跡は史跡整備され、公園や歴史広場として市民の憩いの場や地域行事に活用されています。両史跡では近年再整備事業を実施し、貴重な歴史遺産の保護・活用を進めています。

市内には史跡以外にもまだ1,000ヶ所以上の埋蔵文化財包蔵地があり、それらにも目を向けて地域で守っていただければ幸いです。（堀内 大介）

回数	月・日（曜）	学 習 題	講 師
1	5・10（金）	国史跡 直坂遺跡、県史跡 東黒牧上野遺跡 －富山市南部の旧石器～縄文時代－	市埋蔵文化財センター 学芸員 納屋内高史
2	5・24（金）	国史跡 王塚・千坊山遺跡群 －婦負のクニ 杉谷四号墳など－	市埋蔵文化財センター 主幹学芸員 堀内 大介
3	6・14（金）	国史跡 北代遺跡 －北陸最大級の縄文中期集落遺跡－	市埋蔵文化財センター 主幹学芸員 細辻 嘉門
4	6・28（金）	県史跡 金草第一古窯跡、市史跡 栃谷南遺跡 －古代の窯業生産と寺院・役所－	市郷土博物館 学芸員 泉田 侑希
5	7・12（金）	市指定文化財 遮光器土偶 －原始・古代のいのりとまじない－	市埋蔵文化財センター 所長 堀沢 祐一
6	9・13（金）	市史跡 堀Ⅰ遺跡 －中世～近世の墳墓－	市埋蔵文化財センター 主幹学芸員 堀内 大介
7	9・27（金）	市史跡 中地山城跡、城生城跡、大道城跡 －富山市南部の山城からみる戦国時代－	市埋蔵文化財センター 主任学芸員 宮田 康之
8	10・11（金）	国史跡 安田城跡 －戦国時代の平城－	市埋蔵文化財センター 主幹学芸員 近藤 顕子
9	10・25（金）	国史跡指定相当の埋蔵文化財 富山藩主前田家墓所（長岡御廟所）	市埋蔵文化財センター 専門学芸員 野垣 好史
10	11・8（金）	市史跡 越中丸山焼陶窯跡 －近世の陶磁器生産と流通－	市埋蔵文化財センター 主幹学芸員 鹿島 昌也

## 106 日本の歴史

現在、高等学校の日本史は、世界史の中で日本を理解する歴史総合と、日本の歴史を原始時代から通史的に深掘りする日本史探究とで教えられている。日本史探究では身近な地域への眼差しを取り入れているのが特色である。言うならば、地球全体の〈グローバルな視点〉と歴史を学ぶ者が生活をする〈ローカルな視点〉の両方を重視する歴史学の潮流を踏まえた教育が行われている。

本コースもまさしくその潮流を踏まえた充実した内容になっている。主に県内の歴史学界において第一線で活躍している講師陣が並び、最先端の研究成果に基づく講義が用意されている。しかも越中・富山県に注がれる眼差しは温かく、地域の歴史からおのずと日本全体の歴史を浮かび上がらせる工夫がなされている。受講者の皆さんは学びながら、日本の歴史が身の回りに息づいていることを実感できるはずである。

私はふだん地域史の史料を読み進め、山野河海の自然の中で、先人たちが、いかに生き、何を今日にもたらしたのかを探っている。それが実に面白い。歴史は今につながっており、これからの社会を考えるためのヒントを与えてくれるものだとつくづく思う。本コースを通してこの歴史を知る面白さを、ぜひ皆さんに味わってほしい。

(城岡 朋洋)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・22(水)	縄文時代の食料事情について —主に北陸をテーマとして—	敬和学園大学人文社会科学研究所 客員研究員 藤田富士夫
2	6・12(水)	平安時代の末法思想とその後 —主に経塚をテーマとして—	
3	6・26(水)	埴生八幡文書が語る戦国の世界	とやま歴史的環境づくり研究会 代表 高岡 徹
4	8・7(水)	足利義持期の室町幕府	金沢学院大学文学部 教授 本多 俊彦
5	8・28(水)	江戸時代の地獄思想	富山県立伏木高等学校 校長 高野 靖彦
6	9・11(水)	南北朝の動乱 —中央と地域の様相—	富山県公文書館 史料調査専門員 高森 邦男
7	9・25(水)	戦国～江戸時代の村と百姓	富山大学学術研究部教育学系 准教授 中村 只吾
8	10・9(水)	松倉城とその戦国史	とやま歴史的環境づくり研究会 代表 高岡 徹
9	10・23(水)	明治維新と越中	富山近代史研究会 会長 城岡 朋洋
10	11・13(水)	地域近代化と歴史遺産	

## 107 世界の歴史

毎年、「世界の歴史」として世界史全体を通時的に概観しているが、本年度は改めて世界史という大きな流れを見てもらおうと考えて、「つながる世界」をテーマとした。中身は随分と削ぎ落としたつもりだったが、それでも毎回時間が足りなくなってしまったことは、受講者の皆さんにお詫びすると共にご海容に願いたい。

今回のコースではヨーロッパ諸勢力がヨーロッパ外に進出し、世界の一体化が始まったいわゆる「大航海時代」、ヨーロッパにおける宗教改革、市民革命など、世界が大きく変わっていった16～18世紀に時間を割いた。その分、20世紀が1回分となってしまう、第二次世界大戦後についてじっくり時間を取れなかった。毎年、時代的な比重を変えているのだが、予定ではもう少し20世紀についてお話しするつもりだったので、これはこちらの時間配分のミスであった。来年度は20世紀を増やすつもりでいる。

講義中にも話したところだが、近年の世界情勢・社会情勢を見ていると明るい将来を予想しづらい。確かに世界はつながり、グローバリズムが喧伝される。しかし他方では、世界各地で内向きのナショナリズムや国家的なエゴイズムが台頭している。世界全体に余裕がなくなり、狭い視野で自分達のことしか考えられない。1930年代に類似した世相を見ってしまうのは、考え過ぎだろうか。1930年代、その先にあったのは悲慘な世界大戦だった。歴史を学べば今を改善できるというのは安易に過ぎる考えだが、それでも歴史家としては、歴史を学び、認識した人たちが今を顧みることで未来を変えていってほしいと切に願う。我々はこの世界の未来をより良いものにできるのか。重く難しい問いをもって、今年度の講義を終えた。終始熱心だった受講者の皆さんには感謝したい。

(徳橋 曜)

回数	月・日 (曜)	学 習 題	講 師
1	5・13 (月)	ユーラシアの東西	富山大学学術研究部教育学系 教授 徳橋 曜
2	5・27 (月)	イスラーム世界の形成と展開	
3	6・10 (月)	13世紀の世界	
4	6・24 (月)	16～17世紀の世界1	
5	7・8 (月)	16～17世紀の世界2	
6	9・9 (月)	16～17世紀の世界3	
7	9・30 (月)	18世紀の世界	
8	10・7 (月)	19世紀の世界1	
9	11・11 (月)	19世紀の世界2	
10	11・18 (月)	20世紀の世界	

## 108 中国史に学ぶ

### 『史記』平準書と貨殖列伝を読む

班固の『漢書』以降、中国の歴代正史では「食貨志」という篇目を設け、王朝一代の財政・経済の歩みを綴るのを常としていましたが、これは『史記』の「平準書」に範をとって書かれたものでありながら、その性格にはかなりのへだたりもありました。というのも、『漢書』に始まる「食貨志」が儒教の理念を第一義として書かれた経済通史であるのに対して、『史記』の「平準書」はあくまで漢の武帝時代に焦点をあわせた記述というだけでなく、その内容も財政にとどまらない広範な事柄に及んでいたからにはほかなりません。しかも武帝の曾孫宣帝が『史記』を「謗書」であると断じて禁書にした事実からもうかがえるように、司馬遷の筆鋒は当時の政治をきわめて批判的に捉えており、いわば体制内部にいた人物の著作としてはきわめて例外的なものと言わねばなりません。同時に司馬遷の『史記』をきわだたせているのは、「貨殖列伝」の存在です。これは戦国時代から漢代初期にかけて自分の才覚ひとつで一攫千金をなしながら、富国強兵をめざしてしのぎを削る政治とは一線を画す生き方を通じた素封家の銘々伝であり、武帝のような専制君主のもとでは絶滅危惧種と言わざるを得ない人々へのオマージュでもあります。班固は「貨殖列伝」を儒教の「重農抑商」思想からこれを批判しますが、問題の本質はこれにはとどまりません。

こうした観点から、今回の講義では、前半は「貨殖列伝」を、また後半を「平準書」を読みながら、戦国から前漢にいたる時代の中国社会のありようをお話するとともに、中国専制国家の成立期を生きた歴史家の同時代的認識についてもとりあげてみました。これを機会に中国の政治と社会に対する理解を些かなりとも深めていただくとともに、歴史を学ぶ意義をいまいちど考え直していただければ幸甚です。

(徳永 洋介)

回数	月・日 (曜)	学 習 題	講 師
1	5・9 (木)	『史記』平準書と貨殖列伝	富山大学学術研究部人文科学系 教授 徳永 洋介
2	5・23 (木)	重農と貨殖 ー春秋戦国の社会変革ー	
3	6・13 (木)	古代中国の素封家たち I	
4	6・27 (木)	古代中国の素封家たち II	
5	7・11 (木)	重農論と貨幣論 ー賈誼・鼂錯・董仲舒ー	
6	9・12 (木)	匈奴戦争と統制経済 I ー和親から攻勢へー	
7	10・10 (木)	匈奴戦争と統制経済 II ー酷吏の登場ー	
8	10・24 (木)	匈奴戦争と統制経済 III ー塩鉄の専売と流通統制ー	
9	10・31 (木)	桑弘羊の活躍 ー財務官僚の時代ー	
10	11・21 (木)	むすびの言葉 ー司馬遷の経済論ー	

## 109 食と住の文化史

日本人の居住に係る「住」環境や食してきた食物の「食」文化について、各講師が様々な視点から10回にわたる講義を行った。中本は、「食」に関して、日本の旧石器時代から戦後の昭和期までを概観し、人々の食物への嗜好がどのように変化してきたかに着目した。地球規模の気候変化に伴う植生の変化や動物の移動分布状況、調理技術や調理器具の発達と変化、流行が「食」にどのような影響を与えたのか、具体的には大型哺乳類の捕獲から米食文化、菌茸の伝説伝承、明治期以降、戦後昭和期の急激な変化の端緒にも触れ、文化史的な点から概説した。

「住」については、現代日本人の住まいに対する思考について、近世以降の「家」に対する思いが、現代にも間取りに受け継がれていることや、戦後の公営住宅51C型の間取りから、家族構成がもたらす家具家電の配置や生活変化の様子を解説した。

受講者の年齢層から、各自が経験されたであろう戦後高度経済成長期の事例を活用し、「食」と「住」の文化史的变化や変容を身近なものとして受け取っていただき、普段の生活を通じ、多様な視点からそれぞれの文化を学んでいただけたのであれば幸いである。

(中本 八穂)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・16(木)	食の文化論Ⅳ ー果物・菓子の甘味文化ー	越中史壇会 副会長 木本 秀樹
2	5・30(木)	加賀藩の将軍献上と海・山・川の産物	かなざわ食マネジメント専門職大学 助教 安藤 竜
3	6・13(木)	加賀藩領の発酵食文化 ースシを中心にー	
4	6・27(木)	食べものどくらし ーとって、つくって、たべてー	市郷土博物館 主幹学芸員 中本 八穂
5	7・11(木)	米・餅と日本人 ー多様さ・願い・敬いー	越中史壇会 副会長 木本 秀樹
6	9・12(木)	住の文化論Ⅲ ー歴史的建造物からみた富山の住文化ー	レトロフィット代表 早稲田大学理工総研 研究員 森本 英裕
7	9・26(木)	くらしから変わる住まいⅡ ーこんなに変わったアノ家、コノ家ー	市郷土博物館 主幹学芸員 中本 八穂
8	10・10(木)	砺波散村の住まいと暮らし	富山民俗の会 幹事 安力川恵子
9	10・24(木)	北陸の民家と町家	金沢工業大学建築学科 教授 山崎 幹泰
10	11・21(木)	<small>ていおくいちによ</small> 庭屋一如 ーすまいと庭ー	レトロフィット代表 早稲田大学理工総研 研究員 森本 英裕

## 110 歴史史料をひもとく

当コースでは、時代を遡るような形で近世・近代から中世、そして古代へと講義を進めている。そこには我々が生きている現代から少しずつ過去を遡り、源流を探っていく過程を受講者の方々と共に考えてみたいとの思いがある。そのために各時代に共通するようなテーマを考えて、それに関連する史料としてできるだけ身近に感じられるものを紹介したいと努めている。今年は人支配の有り様を共通テーマとして、古代は木本秀樹氏が「人身支配と社会」、中世は兼子心氏が「武士の土地支配・年貢」、近世は榮が「江戸時代の戸籍」と題して講義した。

また、現地学習は晴れの日富山市民俗資料館において行われた。当館は昭和49年に婦負郡山田村（現富山市）の民家を移築した建物で、今年で50年という節目を迎え、特別展「茅葺ウグイス造りと人びとの暮らし」が開催されており、受講者の方々と見学した。木本氏は民俗民芸村の考古資料館に展示されている木簡・土器について、榮は当館に展示されている古文書から山田村の紙漉き稼ぎについて各々簡単に概説し、兼子氏より民俗資料の保存と収集についての講義と展示物を見ながらの解説をしていただいた。

現地学習を通して、有形の用具と文字史料、そして無形の芸能などを総合的に見ることが歴史史料をひもとくために必要なのだと改めて感じた。

(榮 夏代)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・20(月)	近世史料をよむ －江戸時代の戸籍 送る人・走る人－	富山県公文書館 史料調査専門員 認証アーキビスト 榮 夏代
2	6・3(月)	近世史料をよむ －富山藩の藩札発行 苦しい台所事情－	
3	6・17(月)	近代史料をよむ －一兵卒が見た日露戦争－	
4	7・1(月)	中世史料をよむ －武士の土地支配・年貢－	市民俗民芸村 学芸員 兼子 心
5	7・22(月)	中世史料をよむ －貨幣と貿易－	
6	8・19(月)	中世史料をよむ －幕府の始まり、終わりの戦－	
7	9・2(月)	古代史料をよむ －人身支配と社会－	越中史壇会 副会長 木簡学会員 木本 秀樹
8	9・30(月)	古代史料をよむ －海を渡った人びと－	
9	10・21(月)	【現地学習】(会場:富山市民俗民芸村 民俗資料館) 民俗資料の収集・保存(民俗資料をよむ)	木本秀樹・榮 夏代・兼子 心
10	11・11(月)	古代史料をよむ －東北経営と古代の「道」－	越中史壇会 副会長 木簡学会員 木本 秀樹

## 1 1 1 古典歌謡への旅

令和4年度から続けて3年間、古典歌謡を読んだ。令和6年度は特に梁塵秘抄と閑吟集に重点を置いて読んだ。

平安時代末、華やかな現代的な魅力を持って京都の人々の心を捉えた流行歌謡があった。

「今様」と呼ばれた。後白河院（1127～1192）は、この今様の魅力にとりつかれ、夢中になってこの芸の習得に努めた。今様の歌詞を集めて梁塵秘抄と梁塵秘抄口伝集を編んだ。現在は残念ながら、その大部分が散逸し、一部しか残っていない。

君が愛せし綾藺笠 落ちにけり落ちにけり 鴨川に川中に それを求むと尋ぬと  
せしほどに 明けにけり明けにけり さらさら清けの秋の夜は 343

「君が愛せし」という最も今様的な歌い出し。愛したのは今、都人が注目する新興武士の被る流行のかぶりもの、綾藺笠であった。また、一首全体に響きわたる「あ」や「か」音の頭音、「に」の脚韻、リフレインなども美しい。京都の東をゆったりと流れる鴨川にひるがえり落ちた綾藺笠と清新な秋の夜明けを歌った詩情豊かな洒落た都市の今様である。

室町時代に編まれた閑吟集にも白い尖り笠を詠んだ歌謡がある。

笠を召せ 笠も笠 浜田の宿にはやる 菅の白い尖り笠を 召せなう 召さねば  
お色の黒げに 150

浜田は今の島根県浜田市。15世紀末、山陰屈指の良港で山陰道の要衝でもあった。旅人や出船、入船で賑わったことだろう。当時の往来の道の物売りの声を思わせる。 (武部 弥十武)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・14(火)	梁塵秘抄から(1)	富山工業高等専門学校 元教授 武部弥十武
2	5・28(火)	梁塵秘抄から(2)	
3	6・11(火)	梁塵秘抄から(3)	
4	6・25(火)	梁塵秘抄から(4)	
5	7・9(火)	梁塵秘抄から(5)	
6	9・10(火)	閑吟集から(1)	
7	9・24(火)	閑吟集から(2)	
8	10・8(火)	閑吟集から(3)	
9	10・22(火)	閑吟集から(4)	
10	11・12(火)	閑吟集から(5)	

## 1 1 2 おくのほそ道をよむ

昨年度まで本講座を担当されていた大西紀夫先生がご逝去なされ、そのピンチヒッターということで講師をお引き受けしました。専門外の内容でもあり、遠慮したい気持ちもあったのですが、ともに学びたい方々がいらっしゃるなら、もう一度自分も勉強し直してみるかと、「おくのほそ道」について北陸を中心に講読する学習計画を立てました。

俳諧が成立した歴史を手短に振り返り、俳聖と仰がれる芭蕉が、それまでの滑稽味や諧謔の伝統の上に新しい芸術性を加えたことを概説して、芭蕉が実際に歩いた季節に合わせるように、各地の紀行的記述を追いながら都度都度の句を鑑賞しました。

特に、市振、有磯海、金沢、福井、敦賀のあたりは、受講者の皆さんにも身近な話題もあり、興味をもっていただけたかも知れません。講座修了後、実際に芭蕉の句碑などを訪れるおまけ講座も企画しました。講座担当初年度で、不慣れでかつ準備不足もあったと思います。楽しく学びをご一緒する機会を与えて下さった関係の皆様へ感謝申し上げます。

(高熊 哲也)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・15(水)	俳諧と芭蕉	富山高等専門学校 名誉教授 高熊 哲也
2	5・29(水)	序章 草の戸も住替る代ぞひなの家 旅立 行春や鳥啼魚の目は泪	
3	6・19(水)	日光 あらたうと青葉若葉の日の光 白川の関 卯の花をかざしに関の晴着かな(曾良)	
4	7・3(水)	平泉 夏草や兵どもが夢の跡 卯の花に兼房みゆる白毛かな(曾良) 五月雨の降り残してや光堂	
5	7・17(水)	立石寺 閑さや岩にしみ入蟬の声 最上川 五月雨をあつめて早し最上川	
6	9・4(水)	象潟 象潟や雨に西施がねぶの花	
7	9・18(水)	一(市)振 一家に遊女もねたり萩と月	
8	10・2(水)	那古の浦 わせの香や分入右は有磯海 金沢 塚も動け我泣声は秋の風	
9	10・16(水)	小松 むざんやな甲の下のきりぎりす 那谷 石山の石より白し秋の風 山中 山中や菊はたおらぬ湯の匂	
10	11・6(水)	大垣 蛤のふたみにわかれ行秋ぞ	

### 1 1 3 漢詩漢文の世界へ

ある二人の人物の会話。「立派なあなたでも人を憎むことがありますか。」「もちろん、憎むことはある。他人の欠点を言いふらす人。下位にいながら、上位の人を悪く言う人。勇気がありながら秩序をわきまえない人。思い切りのよい考え方をするが、道理のわからない人などだ。君はどうかね。」「はい、他人の考えをかすめ取って、自分は知恵があると思っている人。傲慢無礼でありながら、勇気があると思っている人。他人の秘密をあばき、それが正直だと思っている人です。」問うたのは孔子の弟子の子貢、孔子が答え、子貢も応じています。これらの憎める人物は私たちの身の回りで、出会うタイプの人物です。孔子たちも私どもと同じように、人間関係で悩まされています。

不治の病にあった弟子の伯牛を見舞った孔子が「伯牛にして、この疾あり。伯牛にしてこの疾あり。」と彼の手を執って悲しみ嘆く姿があり、また最も敬愛する弟子の顔淵の死に接して、慟哭する姿に、弟子たちが驚き「師もまた慟するのか。」のことばに、「彼の死を慟せずして、いったい何のために慟するのか。天はわれを喪ぼせり。」と嘆く声があります。

論語の「子曰ク」は不特定多数の人々に向けられたものではなく、およそ若い弟子たちの誰かに向けられたもので、その人物の性格や知識などのありようによって、同じ内容でも表現の仕方が異なっています。そこには、共によりよい人間であってほしいという孔子の情熱があります。論語は苛酷な時代の中で、生身の人間たちの、たんなる理想や抽象論ではなく、現実的な考え方に立った謙虚で温かい励ましの対話集といえましょう。(第9・10回講座より) (高倉 知成)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・10(金)	I 漢文の読み方・句法	県立富山高等学校 元副校長 高倉 知成
2	5・24(金)	II 漢詩(1) 自然・四季	
3	6・7(金)	II 漢詩(2) 情愛・友情	
4	6・21(金)	II 漢詩(3) 望郷・征戦	
5	7・5(金)	II 漢詩(4) 日本の漢詩	
6	9・13(金)	III 語録・名言選	
7	9・27(金)	IV 故事・寓話	
8	10・11(金)	V 思想(1) 老子・荘子	
9	10・25(金)	V 思想(2) 論語	
10	11・15(金)	V 思想(3) 論語	

## 114 古文入門 ～古文の世界に息づく人々～

令和6年度の「古文入門」は、藤原兼家・道隆(中関白)・道長親子の姿を、歴史物語及び「蜻蛉日記」ではどのように描いているか、さらに「枕草子が描く宮中の世界」・「源氏物語の成立について」学びを深める、をねらいとして始めました。

最初の講座で平安時代の貴族社会の概要や位階制度の説明から始め、「蜻蛉日記」の読みに入りました。一夫多妻が一般的であった当時、夫・兼家の訪れをただ待つしかない身の上のつらさ、他の女への嫉妬等を生々しく描いた道綱母。また、中宮定子のサロンの華やかな様子と、後見であった父・道隆を失った定子の苦悩を主人に寄り添うように描いた清少納言。いずれも受講者の方々の反応は良く、講座を終えて受ける質問も質の高いものが多くありました。

また、今年は何と言っても大河ドラマ「光る君へ」の放送が大きなトピックとして挙げられます。「女院・詮子」や「四納言」等の説明も、時間もかからずスムーズに進められたことは、講座を進行するうえでも本当にありがたいことでした。図らずも「光る君へ」が本講座とリンクするように、時には講座の予習、時には復習となり受講者の方々の学びのサポーターを果たしてくれたと思います。

1,000年も前に生きた平安時代の人々の息づかいが、本講座を受講した方々に伝わったとすれば、誠に幸いです。(沢井 友義)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・14(火)	貴公子に愛された妻 「蜻蛉日記」 1	富山短期大学 非常勤講師 沢井 友義
2	5・28(火)	貴公子に愛された妻 「蜻蛉日記」 2	
3	6・11(火)	歴史物語はどう描いているか 「大鏡・藤原兼家(道長父)」	
4	6・25(火)	後宮を垣間見る 「枕草子」 1	
5	7・9(火)	後宮を垣間見る 「枕草子」 2	
6	9・10(火)	「源氏物語」はいかにして生まれたか	
7	9・24(火)	「源氏物語」物語の主軸を読む 1	
8	10・8(火)	「源氏物語」物語の主軸を読む 2	
9	10・22(火)	「源氏物語」物語の主軸を読む 3	
10	11・12(火)	まとめ「紫式部日記」から	

## 115 江戸時代の文学を読む

名前は知っているけれど読んだことはない作品を、実際に読んでみる。いまの自分の目と頭と心で。

今年は井原西鶴「好色一代女」を読みました。自分一人ではまず読まなかつたらう、という感想がありました(そもそも受講をためらった方もあったかも)。これこそ本望、読んでみないとわからない作品の一つだと考えているからです。

日本の古典と聞いてまず思い浮かべる作品は？ と尋ねたとき、まず挙がるのが「源氏物語」や「伊勢物語」でしょう。どちらも古典の定番教材、つまり教室で読まれている作品ですが、江戸時代には、好色誨淫(みだらなことを教えさとす)の書とする見方もありました。古典としての伝統があり、研究の積み重ねをもとに教育が行われてきたけれど、「源氏＝スゴイ！」という単純な話でもない。さて、実際に読んでみた西鶴の「好色」物は、どのように映ったでしょうか。

私がほぼ一方的に話しているだけの講座ですが、作品(と私)の言葉をきっかけに、受講された方々の頭と心のうちに、形になったりならなかったりするいろいろが行ったり来たりしているとよいと思います。その行き来こそが、「読む」ということなのでしょう。

終了後の雑談もまた、とても楽しいひとときでした。ありがとうございました。(奥野 美友紀)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・15(水)	はじめにー近世(江戸時代)の文学 井原西鶴『好色一代女』巻一「老女隠家」	富山県立大学 非常勤講師 奥野美友紀
2	6・5(水)	井原西鶴『好色一代女』巻一	
3	6・19(水)	井原西鶴『好色一代女』巻二	
4	7・3(水)	井原西鶴『好色一代女』巻二・三	
5	7・17(水)	井原西鶴『好色一代女』巻三・四	
6	9・4(水)	井原西鶴『好色一代女』巻四	
7	9・18(水)	映像で観る近世文学	
8	10・2(水)	井原西鶴『好色一代女』巻五	
9	10・16(水)	井原西鶴『好色一代女』巻五・六	
10	11・6(水)	井原西鶴『好色一代女』巻六「皆思謂五百羅漢」 まとめ	

## 116 くらしを彩る短歌の楽しみ

今年も多くの方々のご参加になり、楽しく発見の多い講義となりました。こころから感謝いたします。

参加者の好きな作品や、創作作品を持ちより、回し読みし、共感しあうことで、皆さま方が向上を図ることができ、うれしく思っております。最終回には、参加者の作品集の冊子を、各自2冊ずつ手作りで仕上げることができました。

短歌は、詠み手と読み手が今を生きる共感をつなぐ芸術です。次回の講義も、初めての方にもご参加いただければと思います。

私自身も、SNSで作品を発表し、英語のタンカの創作と翻訳にも挑戦するなど、多くの方々との交流を楽しんでおります。

最後になりますが、コース委員の松本さんには、運営にお力をいただきました。心から感謝いたします。（木下 晶）

参加者が作品60首から相互に選歌した優秀作品

天位 少しづつものあなたに戻るだけ  
悲しまないでグラスの水 酒井 紀子

地位 古希過ぎて自由気ままに老いの春  
今が旬なり完熟トマト 正源 孝志

人位 ゆつくりと流れる川沿い令飲の花  
螢の時間に少し間のある 秋村トミ子

回数	月・日（曜）	学 習 題	講 師
1	5・24（金）	・短歌づくりのヒントあれこれ ・詠む楽しさ、共感する楽しさ	WEBサイトとやまの詩歌 主掌 木下 晶
2	6・7（金）	・身近な春の事物や想いをよむ ・和歌から現在短歌まで	
3	6・21（金）	・「歌会始め」を楽しむ ・五感とともに心の動きをとらえる	
4	7・5（金）	・初夏の事物や想いをよむ ・口語と文語のコツ	
5	7・19（金）	・夏の事物と想いをよむ ・句切れと句またがり	
6	9・6（金）	・祭りの周辺と想いをよむ ・推敲の方法あれこれ	
7	9・20（金）	・秋の事物と想いをよむ ・オノマトペとリフレイン	
8	10・4（金）	・秋の事物と想いをよむ ・体現止め・対句表現	
9	10・18（金）	・通期の作品のまとめ ・セミナー冊子づくりの準備	
10	11・8（金）	・セミナー作品を一冊にまとめる ・グループ対話し共感を広げる	

## 117 俳句入門

私は、毎年受講者に「私自身は一人の俳学徒」と紹介しています。作句などでは受講者の皆さんよりも幾分先輩の私ですが、「俳句」の前では平等です。そしてそれは、高名な俳人や先達も同じだと思っています。

過日、滋賀県高島市を訪れました。市内安曇川町は、江戸時代初期の陽明学者中江藤樹が起居したところでした。藤樹神社に参拝すると、「知行合一」の文字が目につきました。この言葉には陽明学的な意味合いがありますが、「学んだことを実践してこそ本当に理解したことになる」という気持ちも込められています。

高名な俳人や先達の俳句作品は、俳句を好み学び、そして自分の俳句を考えた結果生まれたものです。受講者の皆さんも、この講義で学んだことを作品に生かしていただきたいと切に望んでいます。たいへん熱心に学んでいただいた受講者の皆さんに感謝します。司会や披講などの役割を立派に果たし、全員で素晴らしい句会を作り上げてくれました。受講者の作品に表れた新鮮な感覚、的を射た感想・意見・質問で、私も大いに勉強させていただきました。受講者の皆さんには、これからも学んだことを自分の作品に生かす努力を続けてもらいたいと思います。

(森川 敬三)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・8(水)	今年度の方針と流れ 私の俳句観 俳句の基礎・基本 句会の心得	富山県俳句連盟 幹事 森川 敬三
2	5・29(水)	句会(1) 当季雑詠 俳句の歴史	
3	6・26(水)	句会(2) 当季雑詠 季語とその本意・本情	
4	7・10(水)	句会(3) 当季雑詠 五・七・五と無理のない字余り・字足らず	
5	7・31(水)	句会(4) 当季雑詠 切れの在り処と切れの効用 推敲の仕方	
6	8・28(水)	句会(5) 当季雑詠 俳句の読解・鑑賞と評価 兼題句の作り方	
7	9・25(水)	句会(6) 当季雑詠(内1句は兼題句) 作句のコツ 吟行のコツ	
8	10・9(水)	句会(7) (吟行句会) 会場近傍の吟行	
9	10・23(水)	句会(8) 当季雑詠(内1句は兼題句) 俳句の種類・自分に合った俳句	
10	11・13(水)	句会(9) 当季雑詠(内1句は兼題句) 学び続けるために	

## 118 川柳を楽しむ

キャンペーンのPRに、企業広告に、「公募川柳」が増えてきました。一般生活にそれだけこの短詩文芸が馴染んできたのでしょう。新聞には、時事川柳について毎日のようにその日のニュースを詠んだ作品が掲載されています。総選挙がどうか、ドジャースの大谷選手が何本打ったとか。共有した感動を詠んで伝えられるのです。

今年の講義では、基本に加え、この時事川柳と印象吟（提示された状況から連想するものを詠む）も取り上げました。

新聞記事から何をとらえるか。空間に置かれたパイプ椅子から何を連想して詠むか。「バラ」という題から選挙戦、プロポーズ、勲章、豚のバラ肉を連想した人まで。

とにかく自由な発想で納得し合い、笑い合い、照れ合って、楽しかったです。川柳を作るということから、記憶をたぐりよせ、課題に知恵をしばりましたね。

共通のことをみんなで話すことが、こんなに楽しいと思いついた講座でした。

歌声も涙も溶けた一行詩                      いそこ

(竹内 勤子)

回数	月・日（曜）	学 習 題	講 師
1	5・13（月）	川柳の基本形／川柳の流れ／ 音の数え方・投句の仕方	川柳えんぴつ誌 編集長 カラット 代表 竹内 勤子
2	5・27（月）	古川柳と現代の川柳／まずは作ってみよう／ 名句鑑賞	
3	6・10（月）	課題を詠む／テーマの考え方／言葉の選び方	
4	6・24（月）	富山の川柳作家／助詞の選び方／ みんなの作品鑑賞	
5	7・8（月）	課題吟と自由吟／伝統川柳と現代川柳	
6	8・26（月）	印象吟について／席題に挑戦	
7	9・9（月）	過去の大会作品から／作品を鑑賞してみる	
8	10・7（月）	感性をみがく／一句鑑賞	
9	10・28（月）	時事川柳／今年のニュースから詠む	
10	11・18（月）	今年の川柳大会作品／まとめ	

## 119 文学へのいざない

今年も暮れて行こうとしていますが、「文学へのいざない」の楽しい読書とその読後感をめぐっての教室での熱い議論には、永遠の若さがあるように感じられます。受講者の方々のそれぞれの個性ある読み方に、私自身これまで何度も目から鱗が落ちる思いをして、知的な刺激に酔いしれたものでした。

志賀直哉「網走まで」では、主人公は網走まで行かなかったのではないか、という見方までもが出てきて、大いに盛り上がりました。そこには、受講者の方々のこれまでの人生経験や知識が反映されていたものです。

ヘルマン・ヘッセ「シッダールタ」は、読んでも分かりにくいという声が多くありましたが、時間は実在しない、という命題が仏教の悟りに関係するというあたりはほんとうに魅惑的な読書経験でした。

村上春樹「偶然の旅人」も様々な議論を呼びましたが、やはり LGBT という今日的なテーマに対して、多くの方が理解を深めたと感じました。

さて、私事にわたって恐縮ですが、私はこの十月に生涯初めての十日間に及ぶ入院生活を経験しました。その間ずっとサマセット・モームの短編集を読むことができたのは、今から思ってもまさに至福の十日間だったと思い出しています。入院生活者にそのような楽しみを与えてくれるという点でも、何と小説とは素晴らしいものなのかと痛感しています。

コースの最終回はそのモーム「雨」でした。信仰と偽善をテーマにしたこの中編小説は必ずしもモームの一番いい面がでていたとは思いませんが、それでも人物描写や南太平洋の風土の描写は、小説の読書を趣味にしている本当によかったと思わせてくれる名作でした。 (吉田 泉)

回数	月・日 (曜)	学 習 題	講 師
1	5・22 (水)	北日本文学賞「疾風迅雷、駆け抜けろ」	富山県芸術文化協会 名誉会長 吉田 泉
2	6・12 (水)	志賀直哉 『清兵衛と瓢箪・網走まで』 から「網走まで」(新潮文庫)	
3	6・26 (水)	司馬遼太郎 『大坂侍』 から「大坂侍」(講談社文庫)	
4	7・10 (水)	向田邦子 『隣の女』 から「隣の女」(文春文庫)	
5	7・24 (水)	ヘルマン・ヘッセ 『シッダールタ』(新潮文庫)	
6	9・11 (水)	夏目漱石 『夢十夜』 から「夢十夜」(岩波文庫)	
7	9・25 (水)	西條奈加 『心淋し川』(集英社)	
8	10・23 (水)	夢野久作 『空を飛ぶパラソル』 から「空を飛ぶパラソル」(角川文庫)	
9	10・30 (水)	村上春樹 『東京奇譚集』 から「偶然の旅人」(新潮文庫)	
10	11・13 (水)	モーム短編集Ⅰ 『雨・赤毛』 から「雨」(新潮文庫)	

## 120 朗読を楽しもう

市民大学において初めてのコース「朗読を楽しもう」では、「読む・聞く・探す（読む文章を）」という3つの楽しみを知っていただけたらと思っています。

朗読というと堅苦しく思われるかもしれませんが、日常生活における話し言葉と同じで、読み言葉を声に出すだけなので、難しいことではないのです。ただほんの少し、こんな風に読んだら、聞きやすいかもしれないというコツを学ぶことは大切かもしれません。

ある本に、朗読の効果として、「健康効果（ストレス発散、認知症予防、集中力や記憶力をアップ）・美容効果（新陳代謝が活発に、アンチエイジング、美しさキープ）がある。」と書かれてありました。本来なら私が実証しなければならないのですが、そこは・・・。

10回の講義で、1回目は発声練習や朗読の基礎についてお話しました。2回目以降は、絵本・小説・エッセイ・詩などのジャンル毎に、毎回例文を示して、朗読に取り組んでいただき、最後の回では、自分の好きな文章を、人前で発表して終了となります。

今年度の市民大学祭では、熱心な受講者の方々と一緒にステージ発表をすることになりました。こちら楽しい思い出の一つになればと思っています。

受講者の皆さんと共に、日常生活の中で効果が表れるような楽しい朗読を取り入れていけたらと願っています。

(立田 ひろみ)

回数	月・日（曜）	学 習 題	講 師	
1	5・9（木）	○発声（練習）・朗読の基礎について	朗読グループ「言の葉」 代表 立田ひろみ	
2	5・30（木）			
3	6・13（木）			
4	6・27（木）			○声に出して読む
5	7・11（木）			・絵本
6	9・12（木）			・民話・昔話
7	9・26（木）			・小説（現代・時代物）
8	10・10（木）			・詩・短歌・俳句・川柳等
9	10・31（木）			・エッセイ
10	11・7（木）			・落語（絵本）
		・朗読劇		
		・群読		
		○自分の好きな文章を人前で読む（発表）		

## 1 2 1 落語のはなし

日本が海外に誇れるものにはいろいろありますが、その一つに挙げられるものが『漫画文化』です。今年お亡くなりになった鳥山明先生の『ドラゴンボール』をはじめとして、『ワンピース』『アキラ』等々沢山の漫画がいろいろな言葉で翻訳され、世界中の子供だけではなく大人達も楽しんでいるのだそうです。そんな漫画の一つに『あかね噺』というのがあることは皆さんご存じでしょうか？この漫画は落語家を父に持つ女の子が主人公で、この子がいろいろな苦労を重ねながら立派な噺家になっていくというストーリーで、今でも週刊少年ジャンプで連載中なのだそうです。落語は日本独特のものであり、そんなものを題材にした漫画が海外で受け入れられるはずがないと思ってしまうがちですが、あにはからんや結構な人気になっているんだそうです。それだけではなく、この『あかね噺』をきっかけに落語自体に興味をもつようになったという外国人の方も少なくないと聞きます。

うちの一門にも一人、スウェーデン出身の三遊亭好青年という者がおります。先日、彼が『蝦蟇の油』という落語をやっているところを観たのですが、日本人相手に外国人の彼が蝦蟇の油売りの口上を披露している状況がなんだかシュールに感じられて思わず笑ってしまいました。

しかし、今後は外国人の落語家がどんどん増えて、そういう状況が当たり前になってしまうのかもしれない。海外の方に「日本人のくせにこんな落語も知らないの？」なんて言われたいよう、是非今のうちにたくさんの落語をお聴きになることをオススメします。 (三遊亭 良楽)

回数	月・日 (曜)	学 習 題	講 師
1	5・17 (金)	落語実演 (1)	落語家 三遊亭良楽
2	5・31 (金)	落語よもやまばなし その1	
3	6・14 (金)	落語よもやまばなし その2	
4	6・28 (金)	落語よもやまばなし その3	
5	7・12 (金)	落語実演 (2)	
6	9・13 (金)	落語よもやまばなし その4	
7	9・27 (金)	落語よもやまばなし その5	
8	10・11 (金)	落語よもやまばなし その6	
9	10・25 (金)	落語よもやまばなし その7	
10	11・15 (金)	落語実演 (3)	

## 1 2 2 日本の歌、世界の歌

今年度の「日本の歌、世界の歌」コースが終了した。今年は、私事ながらコースの最終週にひどい風邪を引き、公開講座の内容を変更せざるを得なかったことが残念ではあったが、新しい試みも取り入れながら講義を全うすることができた。

講義では、人が誰しももっている「声」という楽器が奏でる音楽、すなわち「歌」の様々な魅力や、表現の多様性を、ジャンルにとらわれずに追求したいと考えている。日本の歌については、旋律と詩の関係性、世界の歌では国民性や歴史的背景など、歌を特徴付ける要素とともに様々な歌を紹介してきた。音楽にとって大切なのは「実際に音にすること」ということから、音源の紹介はもちろんのこと、生演奏を聴いていただく機会も大切にしてきた。メゾ・ソプラノの堀江季理子さん、ピアニストの中川歩美さんにお手伝いいただき、不肖、私も歌わせていただき、ライブ演奏の魅力を味わっていただいた。加えて、公開講座を中心に、受講される皆さんにも歌っていただく機会を作り、新たな歌を覚えることにチャレンジしていただいた。

受講される皆さんは今から専門家になろうという訳ではないけれど、熱心で、新しいことを知ろうとする意欲に満ちている。それに応えるべく、よく知られている唱歌や童謡から現代曲、ポピュラー、あるいはバッハ以前の作曲家の曲など、普段耳にすることが少ない曲も含めて新たな知識を加えながら歌の魅力を伝えられたら幸いである。

(宮原 麻子)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・16(木)	日本の歌 その1 童謡・唱歌～日本の西洋音楽の夜明け～	音楽プロデューサー 宮原 麻子
2	5・30(木)	日本の歌 その2 童謡・唱歌から「みんなのうた」へ	
3	6・13(木)	日本の歌 その3 日本人作曲家による日本歌曲	
4	6・27(木)	日本の歌 その4 言葉・音階～Jポップにも繋がる？	
5	7・11(木)	【公開講座】(会場:市民プラザ南側4階アンサンブルホール) 日本の歌 その5 叙情歌・歌曲、名曲あれこれ	
6	9・12(木)	世界の歌 その1 中世・ルネッサンス・バロック時代の歌	
7	9・26(木)	世界の歌 その2 歌 曲 (1)	
8	10・10(木)	世界の歌 その3 歌 曲 (2)	
9	10・24(木)	世界の歌 その4 華麗なるオペラ・オペレッタの世界	
10	11・7(木)	【公開講座】(会場:市民プラザ南側4階アンサンブルホール) 世界の歌 その5 世界の名歌・愛唱歌	

## 1 2 3 音楽サロン

2024年の講義は、名手ハインリヒ・シフが演奏するチェロの名曲とホルンの名手ペーター・ダムが奏でる珍しいバロック・ホルンによる古楽の演奏を聴いていただくことからスタートしました。2回目以降は、次の通りです。

クラシックギターによる演奏で、古典～近代音楽までを。ブルックナー生誕200年に因み、交響曲第7番を。永遠の映画音楽数曲とガーナ生まれのカクラバ・ロビの演奏によるエスニック・サウンドを。リムスキー・コルサコフ生誕180年に因み、交響組曲「シェエラザード」とヤナーチェク生誕170年に因み、その作品を数曲。また、パリオリンピックに因んで、ドヴェュッシーの作品を。ブロックフレーテ（リコーダー）の協奏曲集も興味深く聴いていただいたようです。

公開演奏会では、ストラデッラ、ドゥランテ、ジョメッリ、ポンキエッリ、ペッチアの歌曲、グルックのアリア、グスタフ・ホルスト生誕150年に因み組曲「惑星」より「火星」、「金星」、「木星」を2台のピアノで演奏しました。橋本国彦生誕120年、團伊玖磨生誕100年に因み、それぞれの歌曲を数曲披露しました。

その後の講義では、ホルストの「惑星」をオーケストラ版で全曲聴いていただきました。ピアノ名曲集は、よく耳にする小品を聴いていただきました。そして最終回は、アルビノーニ、グルック、スメタナ、ポンキエッリの名曲。36歳という若さでこの世を去った名ホルン奏者デニス・ブレインによるリヒャルト・シュトラウスの「ホルン協奏曲第1番」を、日本でもよく知られた指揮者ヴォルフガング・サヴァリッシュが指揮したフィルハーモニア管弦楽団の演奏で聴いていただきました。そして、生誕170年を迎えるスーザのマーチで華やかに講義を終えることができました。

受講者の皆さんからは「楽しかった」という感想をいただき、うれしく思います。これからも、美しい音を楽しんでいただければと思います。 (松本 明子)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	4・23(火)	18～20世紀、欧米の音楽(1) 一歌、器楽、管弦楽鑑賞一	声楽家 松本 明子
2	5・14(火)	18～20世紀、欧米の音楽(2) 一歌、器楽、管弦楽鑑賞一	
3	5・28(火)	18～20世紀、欧米の音楽(3) 一歌、器楽、管弦楽鑑賞一	
4	6・11(火)	18～20世紀、欧米の音楽(4) 一歌、器楽、管弦楽鑑賞一	
5	7・9(火)	18～20世紀、欧米の音楽(5) 一歌、器楽、管弦楽鑑賞一	
6	9・10(火)	18～20世紀、欧米の音楽(6) 一歌、器楽、管弦楽鑑賞一	
7	9・24(火)	18～20世紀、欧米の音楽(7) 一歌、器楽、管弦楽鑑賞一	
8	10・15(火)	18～20世紀、欧米の音楽(8) 一歌、器楽、管弦楽鑑賞一 (会場：市民プラザ南側4階アンサンブルホール) 演奏：松本 明子ほか	
9	10・29(火)	18～20世紀、欧米の音楽(9) 一歌、器楽、管弦楽鑑賞一	
10	11・12(火)	18～20世紀、欧米の音楽(10) 一歌、器楽、管弦楽鑑賞一	

## 124 女声合唱

合唱コースは、以前は総勢 120 名以上で活動していました。今年度は 5 年ぶりに「女声合唱コース」（定員 80 名）として復活することになり、大変喜ばしく思っております。

当初、新型コロナウイルスの影響もあり、どのくらいの方が参加してくれるかと心配していましたが 75 名（新規 21 名）の参加者があり、安心しました。

今年度は女声合唱のための童謡メドレー源田俊一郎編曲「いつの日か」を課題曲としました。とても素敵に編曲されています。受講者の皆さんも初心にかえり、コースの発表会を年度の目標として楽しく続けています。歌詞に紡がれた言葉ひとつひとつがしっかり聴き手に届くように、これまで以上に意識して練習しています。編曲もその理念に基づいてなされています。また、作詞者の方々も子供が意味を理解して歌える平易な言葉を選びつつ、芸術性を失わないようにしています。受講者の皆さんも回数を重ねるごとに確実に上達しておられると実感しています。

これまで受講者の方々の熱意と講座に携わる皆様の尽力により、指導者として長い年月、講座に立つことができていることを心より感謝申し上げます。高齢化社会が進む昨今、どなたでも気軽に、そして楽しく過ごせる場所を、合唱を通じて提供できるよう努力して参りたいと思います。

今年、能登半島地震や水害がありました。私たちは歌い続けることにより被災地の復興を祈念したいと思います。  
(瀬戸 和江)

回数	月・日 (曜)	学 習 題	講 師
1	5・15 (水)	●発声法を学び、楽しい合唱を通じ音楽に親しむ。  ○女声合唱のための童謡メドレー 「いつの日か」 編曲：源田俊一郎	指揮 ヴォーチェ・カナリーノ 主宰 瀬戸 和江
2	5・22 (水)		
3	6・5 (水)		
4	6・19 (水)		
5	7・3 (水)		
6	7・10 (水)		
7	9・11 (水)		ピアノ オンディーヌ 主宰 椎名富美子
8	9・18 (水)		
9	9・25 (水)		
10	10・9 (水)		
11	10・23 (水)		
12	10・30 (水)		
13	11・6 (水)		
14	11・13 (水)		
15	11・20 (水)		

## 125 リコーダー演奏を楽しもう

リコーダーは簡単に音を出すことができる楽器ですが「結構難しかった!」「余り得意ではなかった!」という小学生の頃の自分を思い出す人は決して少なくないのでは、と思います。でも、年齢（よわい）を重ね、様々な経験を経て再び手に取って見たら（そして、練習の仕方をチョット変えて見たら）、以前とは違った楽器として自分の手に納まるのではないか、という「変化」を期待して、このコースを設定し、練習を重ねてきました。

活動は、コースの名前の通り「楽しく」が第一なので、難しいことは極力排して「できること」を積み重ねるようにしました。そして「美しい音を求める」を主眼にして、簡単な楽曲をつかって反復練習することで、「指、舌、息」の使い方の「コツ」を「自分のもの」にできるようにしてきました。とは言うものの、音を出すのは簡単でも「楽器」として扱い、音を「音楽」にしていくことはそう簡単ではなく、相応の「努力」と「根気」と、ほんの少しの「音楽的知識」が必要だったようです。

それでも、回を重ね、楽器の扱いに慣れてくると、前回ではできなかった「指使い」ができるようになり、「滑らかな息づかい」をしている自分を感じ、練習している楽曲が「音楽」としてまとまってきた、練習の成果を「演奏」という形で披露することができました。

今後は、毎回の練習で感じた「自分自身の変化」を自信にして、仲間とのアンサンブルに楽しみ  
の世界を広げていって欲しい、と願っています。 (大坪 史尚)

回数	月・日（曜）	学 習 題	講 師
1	5・20（月）		
2	6・3（月）	○ リコーダーを吹こう ・指の使い方について ・舌の使い方について ・息の使い方について	リコーダー・アンサンブル「パレット」 バス・リコーダー奏者 大坪 史尚 アシスタント 大坪 仁子 (リコーダー・アンサンブル「パレット」 テナー・リコーダー奏者)
3	6・17（月）		
4	7・1（月）		
5	7・29（月）	○ 楽譜を読もう ・音楽の約束事について ・実際の楽譜の読み方について ・作曲家(編曲者)の「願い」について	
6	9・2（月）		
7	9・30（月）	○ アンサンブルを楽しもう ・耳を働かせて ・目を働かせて ・心を働かせて	
8	10・7（月）		
9	10・21（月）	○ レパートリーを増やそう	
10	11・18（月）		

## 126 世界の国々

このコースでは、私の出身地であるニューメキシコ州サンタフェ市の紹介と兼ねて、「アメリカの文化：移民と多様性の国」について講義しました。ニューメキシコ州は様々な特徴があり、その一つはアメリカの中でかなりユニークな州で、歴史的に先住民とメキシコとの繋がりが深く、現在は「マイノリティー・マジョリティー州」として知られています。白人よりヒスパニック系の人口が多く、移民だけでなく何百年前から（アメリカが国になる前にも）先祖がニューメキシコで生活をしてきたとのことでした。

多様性の捉え方は人によって違うという点を踏まえ、受講者に、「多様性という言葉はどんなとき思い浮かびますか」と訪ねました。受講者の一人が「考え方が違うとき」と答えました。まさにその通りです。アメリカだと人種や宗教による多様性について終始しますが、日本では、考え方という点で多様な方が多いのではないかと思います。また、様々なバックグラウンドやルーツをもつ人々と関わってきた経験を共有し、特にワシントンDCの大学に通った際には、私と違う考え方をするルームメイトやクラスメイトに出会い、私にとっての「当たり前」が異なっていたという話もしました。

受講者の皆さんが、外から見ることのできるアメリカだけでなく、もっと深くアメリカの社会に根付いている事情、そしてニューメキシコのような知られていないアメリカを知ることができれば幸いです。  
(アリス・リース)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・17(金)	中国、どこまで知っているでしょう	富山県外国人ワンストップ相談センター 相談員 増山 暁潔
2	5・31(金)	アジアの光と呼ばれるお釈迦様の物語 とネパールの仏教文化	富山ネパール文化交流協会 会長 ダルマ・ラマ
3	6・7(金)	アメリカの文化：移民と多様性の国	富山県国際交流員 アリス・リース
4	6・21(金)	地球の裏側 ブラジルにあるもうひとつの「富山」	市立岩瀬中学校 教諭 中村健太郎
5	7・5(金)	韓国、どこまで知ってる？	富山県国際交流員 李 該敏
6	8・23(金)	タイと日本のつながり	市立新庄北小学校 教諭 岸 美乃莉
7	9・13(金)	日本人が知らないベトナムのこと	富山県国際交流員 グエン・ティ・タオ
8	9・27(金)	知っているようで知らないロシア	金沢大学・富山県立伏木高等学校 非常勤講師 ボンダレンコ・オクサナ
9	10・11(金)	アフリカの歴史から学ぶ ーアフリカと日本のつながりー	日本学術振興会 特別研究員 ハーバード大学 ポスドクフェロー 大平和希子
10	11・8(金)	中米の国ホンジュラス ー地域の人々が支える教育ー	富山外国語専門学校 講師 坂下 静香

## 127 美術の世界

### 富山県水墨美術館企画展

「江戸絵画の奇才たち－魅惑の摘水軒コレクション」の展示解説を終えて

当館では「歌麿、北斎、若冲、蕭白、秋暉… 江戸絵画の奇才たち－魅惑の摘水軒コレクション」を開催した。(9 / 14 ~ 11 / 10)

本展覧会は、江戸時代、旧柏村(現・千葉県柏市)の水戸街道に面した私塾「摘翠軒<sup>てきすいけん</sup>」にはじまるコレクションを紹介するもので、千葉県外でまとまった形で公開されるのは初めてのこととなる。同コレクションは江戸絵画を中心としており、昨今の日本美術ブームの中、多方面の美術展への出品依頼が相次ぎ高い評価を得ている。その中で100点もの作品を、当館の開館25周年に合わせて出品いただいたことは光栄であり、また「江戸絵画」に焦点をあてた展覧会も当館では初めてのことで、様々な話題となり感謝している。本展覧会では第1章で肉筆浮世絵を、第2章では江戸期の花鳥画を、前期・後期に分けて紹介した。

当日は、作品画像をもとに1時間程度事前説明を行い、その後展示室で作品を鑑賞いただいた。江戸時代の浮世絵の成り立ちや代表的な絵師の作品、そして南蘋派<sup>なんびん</sup>に始まる写実的な絵画について、時代背景や江戸の風俗をまじえながら解説した。受講の方々が聞きながら聞いてくださることに気をよくして、展覧会の魅力を伝えたいあまりにこちらが熱中し、予定時間をオーバーしてしまったことには反省している。江戸の常識が現代人にはわからないことも多く、作品から謎解きのような面白さも伝わったようであれば幸いである。(桐井 昇子)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・21(火)	奈良・唐招提寺の歴史と美術	富山大学学術研究部芸術文化学系 准教授 三宮 千佳
2	5・28(火)	【現地学習】(会場:富山市ガラス美術館) 回顧展:太平洋ーヴェネツィアン・ガラスの彼方へ	市ガラス美術館 主任学芸員 高橋由佳/学芸員 米田結華
3	7・23(火)	【現地学習】(会場:富山県美術館) 民藝ー MINGEI 美は暮らしのなかにある	富山県美術館 学芸員 内藤 和音
4	8・20(火)	影絵から広がる世界	影絵師 ジャック・ランダル
5	9・3(火)	【現地学習】(会場:富山県水墨美術館) 没後100年 富岡鉄斎	富山県水墨美術館 学芸員 金山 諤
6	9・17(火)	【現地学習】(会場:富山市ガラス美術館) 富山ガラス大賞展2024	市ガラス美術館 主任学芸員 浅田真帆/主任学芸員 中島春香
7	10・1(火)	【現地学習】(会場:富山県水墨美術館) 江戸絵画の奇才たち 魅惑の摘水軒コレクション	富山県水墨美術館 副館長 桐井 昇子
8	10・15(火)	【現地学習】(会場:富山市佐藤記念美術館) 特別展「漆芸家 川西重澄の全貌」	市佐藤記念美術館 専門学芸員 川上 貴裕
9	10・29(火)	【現地学習】(会場:富山県美術館) 第14回 世界ポスタートリエンナーレトヤマ2024	富山県美術館 副主幹 稲塚 展子
10	11・5(火)	中国の絵画、山水画について	富山大学学術研究部芸術文化学系 准教授 三宮 千佳

## 128 暮らしの中の和漢医薬学

本年度も、受講者の熱心な講義への参加をもちまして、我々講師も有意義な時間を過ごせました。改めて、感謝申し上げます。さて、タイトルにもありますように本コースでは、各講師が暮らしの中の和漢医薬学を講義しました。和漢医薬学の講義は、分解すると医学系の和漢医学と薬学系の和漢薬学の講義となります。医学系の和漢医学に関しては、1、2回目の講義で、日頃患者様を診察している漢方医である柴原先生、患者様に漢方薬を渡している病院薬剤部の加藤先生から、漢方薬の歴史や使用方法を学べたことと思います。また、古典的な漢方薬の使用経験に、新たな観点を見出す研究を第6回の東田（道）先生が講義されました。第3、4、5、7、8、9回は、薬学系の和漢薬学の講義です。古いお薬と思われがちな漢方薬ですが、最新の薬学研究で、その効果の機序が明らかになってきています。さらには、漢方薬の成分を使用して新たな医薬品開発への研究が進んでいることを学んでいただけたと思います。また、10回目は、現地学習として、富山大学和漢医薬学総合研究所民族薬物資料館にて、貴重な収集品を観察いただきました。このように、本資料館では、脈々と貴重な資料が保存管理されています。ある意味、富山の宝でもあります。定期的に一般公開も行われておりますので、受講者の皆さんのご友人にお知らせいただければ嬉しいです。

最後になりますが、研究は内容が複雑であり、これを平易に皆様に伝えることは、とても難しいことです。その点から、講義中に不明な点もあったと思います。我々講師も、平易に伝える努力を重ねていく所存ですので、お許しください。機会があれば、お会いできることと楽しみにしております。よろしく願いいたします。

(小泉 桂一)

回数	月・日（曜）	学 習 題	講 師
1	5・17（金）	漢方医学の基本的な考え方	富山大学和漢医薬学総合研究所 教授 柴原 直利
2	6・7（金）	和漢薬の飲み方、効かせ方	富山大学附属病院薬剤部 教授 加藤 敦
3	6・21（金）	健康寿命延長と和漢薬	富山大学和漢医薬学総合研究所 教授 東田 千尋
4	7・5（金）	あぶらを選んで健やかに生きる	富山大学和漢医薬学総合研究所 准教授 渡辺 志朗
5	7・19（金）	がんと和漢薬	富山大学和漢医薬学総合研究所 教授 早川 芳弘
6	9・6（金）	和漢薬は目覚まし時計：さぼっている 生体機能を生薬チームが呼び覚ます	富山大学和漢医薬学総合研究所 准教授 東田 道久
7	9・20（金）	1. 数学で「未病」状態を見つける 2. 漢方薬はナノ医薬品	富山大学和漢医薬学総合研究所 教授 小泉 桂一
8	10・4（金）	生活習慣病に対する和漢薬	富山大学和漢医薬学総合研究所 教授 中川 嘉
9	10・18（金）	植物はなぜ薬をつくるのか？	富山大学和漢医薬学総合研究所 教授 庄司 翼
10	11・1（金）	【現地学習】 (会場：富山大学和漢医薬学総合研究所 民族薬物資料館)	富山大学和漢医薬学総合研究所 名誉教授 小松かつ子／技能補佐員 出口 鳴美

## 129 健康生活の知恵

### ストック型とフロー型の学習 —メモを取らなくなった受講者—

富山市民大学の講師を引き受けてから10年は過ぎた。それで気付くことの一つは、講義中にメモを取る方が極めて少なくなったことである。その理由として2つくらい思うことがある。

一つは、受講者の高齢化かもしれない。メモを取ることが厄介になり、また折角そうしても忘れてしまうことやそれを利用する機会が減ったことであろうか。

二つ目は、メモを取るまでもなく、もっと詳しく知ろうと思えば容易にそれが出来る情報源の普及であろうか。

いずれにしてもメモを取って情報をため込むストック型の学習態度は減りつつあり、その時々  
の情報を受け取りはするが、それをストックせず、その場の視聴で対応するフロー型が多くなっ  
ているように見える。フロー型の学習では、その都度学習内容を楽しみ、時によってはこれまで  
学習したことに必要な訂正・追加があればそれを行い、学習内容をより豊かにすることをその場  
でやってしまうことになる。人工知能(AI)が進歩し、情報のストックの大きさと正確さでも、  
またその斬新さでも人の脳はAIに太刀打ちできない。どうやら学習はフロー型になり、必要があれば  
AIなどのストックに頼る学習に移りつつある。いやもうすでにそれは相当進んでいるとも思える。

市民大学におけるフロー型学習では、講師は知識の伝授の方法を従来の単なる提示から変える  
必要があろう。さらに、学びを深める動機付け、知識と思考の深化につながる工夫が求められよう。

アフリカでは、「一人の高齢者が死ぬと一つの図書館がなくなる」と言われている。私はこれまで、  
これは図書館の大切さ、それも情報をストックすることの大切さを伝えているのだらうと思っ  
ていた。しかしながら、情報の輪廻転生を論しているように思うようになった。AI時代における  
学習は今後どのように変化していくのであろうか。(鏡森 定信)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・10(金)	日本の睡眠の実情と課題	富山大学 名誉教授 神川 康子
2	5・24(金)	睡眠を改善して健康と生活の質(QOL)をUP!	
3	6・14(金)	セルフメディケーション ①知っておきたい薬の知識	富山短期大学食物栄養学科 准教授 藤田 恭輔
4	6・28(金)	セルフメディケーション ②健康食品とのつきあい方	
5	7・12(金)	植物資源が持つ長寿への貢献	富山県深層水協議会 顧問 葎田 隆治
6	9・6(金)	富山で医食同源を楽しむ	富山大学 名誉教授 鏡森 定信
7	9・20(金)	健康と食生活の関わり —少しの工夫で健康に—	富山大学学術研究部教育学系 准教授 藤本 孝子
8	10・4(金)	健康生活とウェルビーイング	富山大学学術研究部医学系 助教 立瀬 剛志
9	10・18(金)	健康寿命を延ばす食事	管理栄養士 新村 典子
10	11・1(金)	医師が奨める温浴・サウナの利用法	富山大学 名誉教授 鏡森 定信

## 130 豊かな心

日常をマクロで見れば、とりたてて目立つこともなく、ありきたりの出来事の連続でも、ミクロで見れば、刻一刻を感じたり考えたり、人の意識は変幻きわまりない動きに満ちている。実は何も起こらない平凡な日常などありえない。否応なく何かが起こっているのである。

ゆるやかに流れる日常、ある日突然何かに気づく。“人生をゆさぶる”には、必ずしも大事件を必要としない。日常のちょっとした気づき、それによって意識が変わり、行動が変わる。

養老孟司氏は次のように提案する。「違う土地に行って、違う空気を吸う。人間そうやって自分を変えていく。相手が変わるのではなく、自分が変わる。自分はいつも同じ、と思っている人が多いが、それは違う。」つまり周りの環境を変えることで“人生をゆさぶり”、人の変容を可能にしようとするのである。

どんな時でも人間が求めるものは幸せであろう。しかしながら、人生いつも順風満帆である人はまずいない。いつも何か問題を抱えている。その問題という代物は、喉に引っかかった小骨のように、人を悩ませる。何とか早く解決したいと、行動に走る。

最短時間で楽になりたい、というのが、人間のだいたいの行動パターンである。こんな繰り返しでいいのだろうか。何かにぶつかった時、人はすぐ行動を起こしたくなる。しかしその前に、思考を変えてみてはどうか。思考を変えると、行動が変わる。行動が変わると、結果が変わる。これは、「豊かな心」、第2回「人生をゆさぶる」と第4回「生命力を鍛える」からの抜粋である。

(永田 円了)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・16(木)	第三のみち	富山国際大学 元教授 永田 円了
2	5・30(木)	人生をゆさぶる	
3	6・13(木)	問題か課題か	
4	6・27(木)	生命力を鍛える	
5	7・18(木)	ファシリテーター	
6	9・5(木)	三つの主人	
7	9・19(木)	バイアスという戦場	
8	10・17(木)	ザ・ビートルズ	
9	10・31(木)	こころの主旋律	
10	11・14(木)	ネガティブ ケイパビリティ	

## 131 リズム体操

リズム体操では、余分な力を抜き呼吸を深め、全身の筋肉を伸ばしたり関節をほぐしたりして、姿勢を整えることから始めます。不調の原因となる動きや姿勢を改善することで、関節の可動域が広がり、筋肉の本来の反応や動きを取り戻していきます。全身をバランスよく動かす体操は、歩行能力、柔軟性、筋力から算出される体力年齢を維持増進するために役立ちます。更に有酸素運動で若々しい血管を保ち、心肺機能を高めることが期待されます。

ステージ発表では、次の3曲を選びました。明るい気分になる「東京ブギウギ」の曲は、複雑な手足の動きを覚えるのに苦労しましたが、脳も活性化され軽快なリズムにのってステップを楽しむことができるようになりました。ゆったりとした「糸」の曲では、下肢のストレッチと胸郭を広げる動きで、美しい姿勢を定着させるねらいがあります。体を捻じる動作では、自律神経を整える効果も期待されます。「ギフト」の曲は、骨密度をアップさせる運動とダイナミックな振動運動を取り入れて構成しました。振りにガッツポーズを入れることで、より強く前向きな気持ちになれたと思います。

これからも、リズム体操を通して得た心や体の気付きを、皆様の健康づくりにお役立ていただければ幸いです。

(田中 裕子)

回数	月・日 (曜)	学 習 題	講 師
1	5・14 (火)	◇身体ほぐし体操 ・やさしい呼吸法 ・ハンドマッサージ ・体と対話しながら行う体操	体操インストラクター 田中 裕子
2	5・21 (火)		
3	6・4 (火)		
4	6・11 (火)		
5	6・18 (火)		
6	7・2 (火)	◇リズム体操 ・バランスのとれた全身運動 ・血行促進 ・若さと健康保持	
7	7・9 (火)		
8	7・16 (火)		
9	9・24 (火)	◇美容と健康のための体づくり ・肩こり、腰痛、ひざの痛み予防 ・全身のシェイプアップ	
10	10・1 (火)		
11	10・8 (火)		
12	10・29 (火)		
13	11・5 (火)		
14	11・19 (火)	◇クールダウン ・柔軟性を高める体操 ・ゆったりストレッチ	
15	11・26 (火)		

## 1 3 2 100歳まで歩こう

だれでも歳をとれば体や心に少なからず異常をもっています。しかし、最も多く見られるのが、日常生活に必要な歩行困難をもたらす下肢の動きに不自由を有する人たちではないでしょうか。

これらの人たちでも適切な運動指導とそれに対する本人の努力次第で歩行能力が改善されることはすでに報告されています。

そこで、さらに高齢化が続くと予想される現状に合わせて「100歳まで歩こう」というキャッチフレーズを設け、フィットネス向上プログラムを作りました。

「加齢とともに増える歩行障害を乗り越えて」といっても本人がその気になって歩こうとしなければもっと自由に歩けるようにならないのです。加齢とともに衰えていくのは仕方がないのですが、歳をとっても適切に運動をし、十分な休養を、そして栄養摂取によって回復の可能性が残されているのだと信じて努力しよう。

(田中 洋)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・15(水)	<p>●ストレッチングで心も体もしなやかに！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・のんびり、ゆったり 心と体を軽やかに</li> <li>・健やかな毎日を過ごすための体力づくり</li> <li>・穏やかな毎日を過ごすための心づくり</li> </ul>	<p>日本スポーツ協会公認 スポーツ指導員 辰尾 妙子</p>
2	5・29(水)		
3	6・12(水)		
4	6・26(水)		
5	7・10(水)		
6	9・4(水)	<p>●ノルディック・ウォーク&amp;ノルディック・エクササイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノルディック・ウォークの起源・効果・効能</li> <li>・ノルディック・ウォークの歩行解析</li> <li>・生活習慣病とロコモティブシンドローム</li> </ul>	<p>全日本ノルディック・ウォーク連盟 専門講師 田中 洋</p>
7	9・25(水)		
8	10・9(水)		
9	10・16(水)		
10	10・23(水)		

## 133 暮らしの実学

### 「豊かに生きるための図書館活用術」

現代は、約96%の人が携帯電話を持ち、国内の9,700万人がLINE（ライン）を利用する、かつてないほどの情報化社会です。手軽に情報にアクセスできるのは便利である反面、一步間違えれば個人情報抜き取られてしまうなどの危険もあります。情報に振り回されるのではなく、情報を選び使いこなす姿勢が求められる時代といえます。

図書館は、あらゆる知識を体系的に整理した空間です。集められた資料は織り込まれた「知」であり、あらゆる世界への「窓」。富山市立図書館には、今回の「暮らしの実学」で解説されたテーマに関する資料も、あるいは、ご自身の趣味に関する資料も少なからず所蔵しているはずです。所蔵していない場合は、相互貸借サービスを使って近隣の図書館から取り寄せることもできます。

図書館は、暮らしを活気づけるスパイスです。使い方がわかれば、日々の暮らしはより彩り鮮やかになります。使っていくなかで分からないことは、お気軽に司書にお尋ねください。資料を使って調べられることならば、司書はとことんお手伝いします。

富山市立図書館が所蔵する100万冊以上の資料や、ウェブサイトなどを上手に活用して、自分の興味の幅を広げていきましょう。（工藤 崇人）

回数	月・日（曜）	学 習 題	講 師
1	5・15（水）	消費者トラブルとその対処法	金融広報アドバイザー （消費生活専門相談員・行政書士） 古村理栄子
2	5・29（水）	人生100年時代の健康づくり	角川介護予防センター 健康運動指導士 沖 直哉
3	6・19（水）	金融取引の基礎知識と金融トラブル	富山財務事務所理財課 主任調査官 松本 穰
4	7・3（水）	最後まで私らしく① －成年後見を知る－	高岡法科大学 専任講師 後藤 亜季
5	7・17（水）	最後まで私らしく② －成年後見を知る－	
6	9・4（水）	物・心・情報を整えるあったかい生前整理	整理収納アドバイザー 浮田美紀子
7	9・18（水）	薬や健康食品の選び方・使い方	富山短期大学食物栄養学科 准教授 藤田 恭輔
8	10・2（水）	セカンドライフと生命保険	（公財）生命保険文化センター生活情報室 専任講師 山口 良司
9	10・16（水）	豊かに生きるための図書館活用術	市図書館 主任司書 工藤 崇人
10	11・6（水）	もしもの災害に備えて	市防災危機管理課 専門気象予報士 宇田 英史

## 134 楽しい法律

「楽しい法律」コースを10年間担当させていただきました。このコースでは法律の一般的な知識について事例を題材にして検討しているほか、例えば、令和6年4月1日から始まる相続登記の義務化や、令和5年4月27日から始まった相続土地国庫帰属制度など、最新の法制度についての解説もしています。また、国が同性同士の結婚を認めない民法などの規定は憲法違反であるとして全国各地に提訴された裁判の判決の動向や、選択的夫婦別姓制度など、新聞やテレビで話題となった事件や裁判の話題についても触れています。

そして、毎年恒例となっている刑事裁判傍聴を今年は2回開催することができました。初めて刑事裁判を見る方も多く、テレビとは違った実際の裁判の手続を見学することができました。裁判傍聴を踏まえ、講義では、覚せい剤で執行猶予中の被告人には再犯のおそれがないか、覚せい剤の使用を止めるにはどうしたらよいか、などについて皆さんにも考えてもらいました。

相続の問題では、遺言を含む終活に関する問題についても皆さんと検討しました。さらに、能登半島地震を踏まえ、災害と法律について、具体的な事例をもとに、法的な支援制度についても学習しました。

日々の生活に法律は密接に関わっています。受講者の皆さんには、難しい法律を楽しく学んでいただけたのではないかと思います。

(木下 実)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・11(土)	家族と法律Ⅰ ー夫婦ー	弁護士 木下 実
2	6・8(土)	家族と法律Ⅱ ー親子ー	
3	6・29(土)	家族と法律Ⅲ ー相続ー	
4	7・6(土)	社会生活と法律Ⅰ ー事故・災害ー	
5	7・27(土)	社会生活と法律Ⅱ ー仕事ー	
6	9・7(土)	財産と法律Ⅰ ー契約ー	
7	9・28(土)	財産と法律Ⅱ ー不動産ー	
8	10・5(土)	財産と法律Ⅲ ー金銭貸借ー	
9	10・30(水)	犯罪と法律Ⅰ ー刑事裁判傍聴ー	
	10・31(木)		
10	11・16(土)	犯罪と法律Ⅱ ー犯罪ー	

## 135 郷土の料理

日本各地の郷土料理は、風土や風習、その土地でとれる食材を中心に育まれてきました。富山では、海の幸、山の幸、里の幸がそれぞれ手に入りやすく、郷土料理も生まれ、継承されてきました。さらに同じ料理名でも、味付けや食材内容は県内でも異なっていることがあり、各家庭でも工夫されてきています。

今年には能登半島地震があったことや異常気象のため、海産物や野菜が手に入りにくくなり、特に魚料理については食卓に上がることが少なくなっていると感じています。白エビ、紅ズワイガニ、スルメイカ、フクラギ、ブリ等、郷土食には欠かせない食材が富山湾からとれにくくなっていることはマスコミでも報じています。郷土食の継承に少し不安を感じている今日この頃です。それでもこの教室では四季折々の野菜、山菜、海産物を使って調理をし、郷土食や伝統料理が少しでも皆さんに伝わっていくことができれば幸いです。

地産地消、旬産旬消を意識しながら基本的な味や作り方を学んでいただくことで、各家庭でアレンジ・工夫していただくことが新しい世代への継承になり、「家庭の味」へも繋がっていくのではと思っています。富山県で生産される野菜や果実は種類や品種が増えてきており、季節にとらわれない食材が簡単に手に入り食卓に季節感が少なくなりつつあります。伝統料理を作ることで季節を感じていただくことの一端になればと思っています。

(新村 典子)

回数	月・日 (曜)	学 習 題	講 師
1	4・23 (火)	旬の春野菜を使ったふるさと料理	管理栄養士 新村 典子
2	5・21 (火)	春の富山湾の料理	
3	6・11 (火)	夏を元気に過ごすための料理	
4	7・2 (火)	味わってみようお盆料理	
5	9・10 (火)	身近な素材で秋の料理	
6	10・1 (火)	秋の実りを食卓へ	
7	10・22 (火)	伝えておきたい郷土料理	
8	11・12 (火)	おばあちゃんの味を大切に	

## 136 家庭でできる『やくぜん料理』

今年の9月14日の新聞で県内の100歳以上の高齢者が1,029人になったと報道されました。男性は102人、女性は927人で、昨年970人を上回ったとのことでした。「健康で長生き」は誰もが望むことであり、病気を未然に防ぐことがその一役を担っていることは事実です。毎日の食事に気を配ることは健康を維持していくために重要であり、食材や食べ方を工夫することが必要と考えられます。最近では免疫力を高めることが病気になりにくくなり、合併症にも効果があるとされています。どんな食材や作り方がよいか、それぞれの薬効を知りながら、毎日の食事に取り入れることが大切です。

中国で昔から言われている「薬食同源」は、薬と食べ物はもともと同じものと考え、身近にある野草や野菜、果実、魚介類、肉類などをその時々季節や体調に合わせてそれぞれがもつ“薬効”を知りつつ、家庭でも家族に合った食事を美味しく毎日食べ続けることが健康寿命の延伸につながると考えられています。「やくぜん料理」教室では、テーマに合わせて食養生と言われる食事の摂り方を念頭に、季節ごとの旬の素材を使いながら、その季節に起こりやすい体のトラブルを未然に防ぐため、各々の特性を生かした食品の組み合わせや調理方法を学んでいただいています。

旬の恵みを食しながら、健康を維持し、病気を未然に防ぐことが毎日の食事のできることを知っていただき、さらに美味しく楽しく食べることでその効果が増していきます。体も心も健康で元気でいていただきたいと思っています。(新村 典子)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・14(火)	和食は世界で注目される健康食	管理栄養士 新村 典子
2	6・4(火)	春から夏への食事	
3	6・25(火)	夏バテ予防の食事	
4	7・9(火)	疲労回復のための食事	
5	9・3(火)	美容・美肌のための食事	
6	9・24(火)	胃腸にやさしい食事	
7	10・8(火)	老化防止のための食事	
8	11・5(火)	秋から冬への食事	

## 137 季節の和菓子づくり

和菓子は、買って食べる時と手作りで食べる時、お土産などで頂いて食べる時と、その時その時で食べる気持ちが変わっているのが楽しみとなります。

例えば、大福を例にとってみます。

自分で買うときは店の名前が大切で、餅生地がとことこしていること、餡は小豆の風味があり、甘すぎないこと、そして、一日で固くなるものを選んでいきます。

手作りの場合はレシピが複雑でないこと、新鮮な素材を準備すること、甘さを抑えること、添加物を入れず、体にいいと思う材料を選び作ります。

お土産を頂いたときはパッケージを楽しんだり、お店のルーツを探ったりと、自分も旅した気分になるようになり、ワクワク感がたくさんあります。

ただなんとなく口に入れるのではなく、ちょっとこだわってみると和菓子の魅力にはまっていますよ、、、。

(清水 祥子)

回数	月・日 (曜)	学 習 題	講 師
1	4・25 (木)	漉し餡の作り方 かしわ餅	お菓子教室ももほのか 主宰 清水 祥子
2	5・23 (木)	粒餡の作り方 笹だんご	
3	6・13 (木)	上用まんじゅう	
4	7・4 (木)	あやめだんご	
5	9・5 (木)	フルーツあんみつ豆	
6	9・26 (木)	練りきり	
7	10・10 (木)	栗最中	
8	10・31 (木)	はなびら餅	

## 138 スイーツでO・MO・TE・NA・SHI

「あなたの至福の食べものは何ですか？」私は食いしん坊なので、この質問をされたらとても迷います。例えば、「炊き立てのご飯とみそ汁とお刺身があれば最高。」と思いつくのですが・・・。

しかし、私が本当に食べたいものは、食事の後に食べるデザートです。質問には、「焼きたてのアップルパイ」と答えます。採れたてのリンゴを煮込んでシナモンをほんのりふり、パイで包み、高温のオーブンでさっくり焼き上げたものが食べたいのです。

今年は魚津の加積リンゴを使ってみました。皮をむいた瞬間、生のままで食べた方が美味しいと判断しましたが、アップルパイにしたいくなりました。長野や青森のリンゴばかり買い求めていましたが、車でちょっと走り、道沿いに多くのリンゴ農家さんがある所、魚津の加積りんご生産地区へ行って買いました。若いご夫婦で営まれていて、あたたかい接客をしてくださってうれしく思いました。「しばらくはこのリンゴを買い求めることが必須だろうな・・・」と。

自分の至福の食べものをもっていると、幸せが絶えることはないと強く思いました。

(清水 祥子)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・9(木)	母の日に贈るケーキ 苺のロールケーキ	お菓子教室ももほのか 主宰 清水 祥子
2	5・30(木)	父の日に贈るケーキ カスタードプリン・抹茶プリン	
3	6・20(木)	ジュンブライドに贈るケーキ フルーツケーキ	
4	7・11(木)	さっぱりとしたデザート チーズケーキ	
5	8・29(木)	夏のおもてなしデザート フルーツ白玉ポンチゼリー	
6	9・12(木)	長寿のお祝いのお菓子 小倉入り台湾カステラ	
7	10・17(木)	コーヒーに合うお菓子 エンガディナー・ヌストルテ	
8	11・7(木)	紅茶に合うお菓子 採れたてアップルパイ	

## (2) 創作コース

### 201 洋画

絵を描くということは「私」の心と向き合う大切な時間でもあります。市民大学の洋画コースは、楽しみながら創造力を解き放つ貴重な時間であり、自己表現の幅を広げる場です。

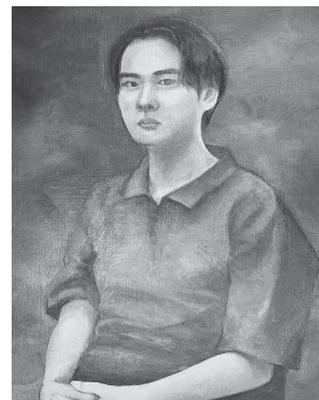
受講者の皆さんが絵筆を入れるたびに、作品が豊かになっていくのを目の当たりにするのは、この上ない喜びです。25名からスタートしましたが、雑談を交えたコミュニケーションをとりながらも、しっかりと仕上げを見せさせていただき、感謝いたします。

絵を描くには、難しく考える必要はありません。

どうすればこの対象が生き活きと絵の中で「私」を代弁してくれるだろうか。「私」はこれを絵の中に描き入れたいのだ。という思いをさらにつまびらかにしたい。願いや思いを強くするには。自分の世界観を顕かにするには。考えるより先に手を動かします。

心そのままに描くには、心惹かれる対象をデッサンや素描で、光と影、質感、形をありのままに捉えるトレーニングをするのが最適と考えます。

対象を深く観察し、絵筆を重ねるたびに、紙やキャンバスに広がる世界はより豊かになり、自身の思いが色彩と形として表現される喜びを感じることでしょう。 (古田 恵子)



廣瀬 典子

回数	月・日 (曜)	学 習 題	講 師
1	5・11 (土)	画材について 下地作りについて 楽しんで絵を描くこと	一陽会委員 富山県洋画連盟会員 古田 恵子
2	5・25 (土)	《静物画デッサン》 観察する 物と空間の形を捉える	
3	6・8 (土)	モチーフの関係性と物語を描く 自身のテーマを探求する	
4	6・22 (土)	《オートマチックドローイングで素描》 伸びやかな線を描く 構図を練る	
5	6・29 (土)	心象風景を具現化する 彩色	
6	7・13 (土)	《人物デッサン》	
7	7・20 (土)	生きた対象と向き合う	
8	7・27 (土)	誰もが慣れている人体の持つ表情の発見	
9	9・14 (土)	《風景》	
10	9・28 (土)	外に出て、移り行く季節や変化を発見する 遠近感、消失点を意識する	
11	10・5 (土)	自身が捉えたもの、着目したもの 自分の物語を想い描く	
12	10・12 (土)	《自由課題》	
13	10・26 (土)	自分が主体となり、作品を仕上げる	
14	11・9 (土)	展示作品の選考	
15	11・16 (土)	《作品鑑賞会》自身が惹かれるテーマ作品を語る	

## 202 日本画

日本画コースでは日本画作品を制作します。制作にあたってはすぐに日本画の麻紙パネルに日本画絵具で着彩するのではなく、何回か対象物を正確に描写する鉛筆でのデッサンをして本画制作への足がかりとします。

日本画は下図を作り、その下図を写し取ったり、絵具を砕いたり、何度も色を重ねたりと面倒な作業が多いのですが、手をかけた分、繊細で微妙な色の美しさや日本画独特のやわらかな絵肌で深みのある作品に仕上がります。

初心者の方は日本画制作の流れを知っていただくために水干絵具（麻紙に色が定着しやすい日本画絵具）で作品を完成させます。少し経験のある方は岩絵具（主に鉱石を砕いた粒子状の日本画絵具）も少しずつ使いながら制作されています。

水干絵具も岩絵具も日本画の絵具ですが、水干絵具は粒子が細かく、混ぜることもでき、滑らかに均一に塗れ、色が定着しやすい絵具です。仕上がりはやや平坦で全体に硬い印象の作品の仕上がりになります。一方、岩絵具は粒子の細かいものから粗いものまであり、なかなか扱いにくいのですが、日本古来の美しい色も多く、岩絵具の微妙な重なりによって美しい発色と奥行きのある絵肌の作品に仕上がります。それぞれ自分のイメージに合う仕上がりを楽しんでいただきたいと思います。



浅岡 政子

回数	月・日（曜）	学 習 題	講 師
1	5・17（金）	画材等の説明 鉛筆デッサン（花、野菜、果物 等）	日展会友 市日本画作家連盟常任理事 大島 麻美
2	5・24（金）	鉛筆デッサン（ガラス類）	
3	6・7（金）	デッサン（干物 等） 鉛筆デッサン+顔彩着色	
4	6・14（金）	色紙に淡彩で描く	
5	6・28（金）	作品の為のデッサン 下図制作	
6	7・12（金）	下図トレース 下図着色	
7	7・26（金）	作品の下地作り（胡粉のとき方）	
8	8・23（金）	作品の下塗り（背景の色等水干絵具で着色）	
9	8・30（金）	作品制作・彩色	
10	9・6（金）		
11	9・20（金）		
12	10・11（金）		
13	10・25（金）		
14	11・8（金）		
15	11・15（金）	作品完成・作品講評	

## 203 版画

今年度の受講者は毎年受講して下さる方々も含め、12人でのスタートとなりました。中には母娘さんでの受講者もあり、これは初めてのことで、とても嬉しく、羨ましくもありました。

初めて受講される方々は、基本彫りでの彫刻刀やバレンの使い方が難しいようでしたが、真剣に取り組みました。毎年、受講されている皆さんも前回の作品の反省点に注意し、それぞれの下絵を描き進めました。

こうして皆さんが苦勞して描き上げた下絵を版木に転写し、彫りの作業に進みます。彫りにはとても時間がかかります。しかし、慣れてくると、カリカリと良い音をたてて削れます。白と黒のバランスを考え、彫り過ぎてしまわないよう気を付けます。

こうして何日もかけて彫り終えたら、仮摺りをしてみます。そして悪い個所を修正したら、いよいよ和紙に本摺りとなります。これは簡単に摺れると思われがちですが、真っ黒になるまで摺るのには根気と集中力が必要です。誰もこの作業には苦戦します。

こうして苦勞して摺り上げた後、いよいよ版木から作品を外すのですが、この時には一体どんな風になっているのかと、とてもワクワクドキドキと嬉しいものです。



木村 郁子

回数	月・日 (曜)	学 習 題	講 師
1	5・17 (金)	木版画 基本彫りⅠ 下絵写し、彫り	版画芸術院会員 矢部 美子
2	5・24 (金)	木版画 基本彫りⅠ 彫り、摺り	
3	6・7 (金)	木版画 基本彫りⅡ 下絵写し、彫り	
4	6・14 (金)	木版画 基本彫りⅡ 彫り、摺り	
5	6・28 (金)	木版画 下絵	
6	7・12 (金)		
7	7・19 (金)		
8	9・6 (金)	木版画 彫り	
9	9・13 (金)		
10	9・27 (金)		
11	10・4 (金)	木版画 試し摺り	
12	10・18 (金)	木版画 本摺り	
13	10・25 (金)	捺摺状 下絵	
14	11・8 (金)	捺摺状 彫り	
15	11・15 (金)	捺摺状 試し摺り	

## 204 切り絵

「切り絵」はもともと、「切り紙」「切り抜き絵」と呼ばれ、江戸時代には伝統手工業として確立されていました。京都の友禅染めや我が国独特の家紋の型紙や夏の風物詩の回り灯籠や神社で使われる御幣も全て切り絵です。要は図案やデザインを刃物で切ったり、切り抜いたりして、その用途に合った伝統的な型紙の製法が発祥です。ところが、版画家の滝平二郎氏が、朝日新聞日曜版に「子供たちの四季」を連載する時、「板を切るより紙を切った方が早い！」という理由で「切り絵」が生まれました。名付けたのは朝日新聞社編集部で、わずか50年程前のことです。



三吉智佳子

私はその連載中に見様見真似で切り絵を始めました。子供の頃から漫画好きで、よく似顔絵を投稿しては学用品や賞金を頂いておりました。でも、真似たのは背景の花・山・建物等で、人物は最初からオリジナルでした。ひげそりの刃とか電気屋さんが使う大きなカッターナイフでせっせと作り貯め、2～3年後にやっとデザインナイフの元になるNT替刃の旧式が誕生した時は泣くほど喜びました。カーブの線が切りやすく、私の特長「円い切っ先」が表現しやすいのです。当時はサラリーマンでしたが、「花シリーズ」「子供シリーズ」「女シリーズ」等の個展を始めると、新聞社や広告代理店等からさし絵やイラストの注文が舞い込むようになり、ついに専業になりました。印刷出版業界や広告のバブル期に間に合ったのでしょう。

思い出に残る仕事、たくさん発表させていただきました。富山市民大学では、作る喜びを感じてもらえるような講義を心がけました。初歩的な発想からオリジナル作品に近づく下絵作りに時間を割きました。ほぼ近くまで行きましたよ。お疲れさまでした。(岩田 長峯)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・20(月)	切り絵のスタートⅠ (道具・手順の説明とカッティング)	切り絵作家 岩田 長峯
2	6・3(月)	切り絵のスタートⅡ (カッティング・コピー小品)	
3	6・17(月)	切り絵の初歩Ⅰ (カッティング・名前と手) ハガキサイズ	
4	7・1(月)	切り絵の初歩Ⅱ (カッティング・名前と手) ハガキサイズ	
5	7・22(月)	切り絵の初歩Ⅲ (人形・置物の形の取り方と下絵)	
6	7・29(月)	切り絵パステルⅠ (パステルの使い方) 名前と手の作品利用	
7	8・26(月)	切り絵パステルⅡ (コピー小品又は人形や置物など) ハガキサイズ	
8	9・9(月)	切り絵パステルのまとめ (色紙サイズのテーマの準備・背景の説明)	
9	9・30(月)	色紙作品にチャレンジⅠ (コピー小品利用又は簡単なオリジナル作品)	
10	10・7(月)	色紙作品にチャレンジⅡ (パステル使用)	
11	10・28(月)	色紙作品仕上げ(糊づけ)Ⅰ (色紙サイズの仕上げ)	
12	11・11(月)	色紙作品仕上げ(糊づけ)Ⅱ (色紙サイズの仕上げ・カラー切り絵・総評)	

## 205 篆 刻

今年度の本コースでは、初めて篆刻をされる方々を中心に、少し経験された方もおられ、なごやかな雰囲気の中にも高い意欲を感じ、篆刻の基本である文字の成り立ちから始めました。

篆刻とは「篆書」という文字の歴史上、最も古い時代の書体を使い、石に彫り込むことが起源とされています。紀元前よりある文化で人類が文字によってコミュニケーションを取り始めたことを証明するツールで、長い歴史の間文字は様々な形に変化し、現在に到っています。

講座では、まず文字の歴史を理解し、基本的な篆書体の知識を学んで参りました。そして、石に文字を転写してから「彫る」という段階で、まず慣れて頂くために簡単な図形や線から練習していただきました。自分の名前を辞書で調べ、紙に原稿を書き、石に転写するという行程について、一通り体験を通して形にしていきます。

最初は慣れない手つきで彫っておられましたが、徐々にしっかりと力強く刃を進められ、短期間で皆さんとても上達され、捺印しては仕上がり具合を確かめておられました。また、大学祭に向けての作品づくりは、各々好きな四文字熟語を選分し、構成そして彫刻と更に意欲的に取り組み、皆さんの個性が際立つ様々な作風に仕上がりと、素晴らしい作品となりました。

限られた時間の中での講座でしたが、これを機に篆刻文化に興味をもっていただき、一生親しめる趣味として今後も一緒に楽しんでいただければ良いなと思っております。 (大村 雪陵)



山田 重作

回数	月・日 (曜)	学 習 題	講 師
1	5・16 (木)	篆刻の概要と篆刻三法 (選文・布字・彫刻)	日本篆刻家協会常務理事 大村 雪陵
2	6・6 (木)	篆刻と字源 (実技指導)	
3	6・20 (木)	名前彫り (実技指導)	
4	7・4 (木)	篆刻作品の見方 (実技指導)	
5	7・18 (木)	石印材と印牋 (実技指導)	
6	9・5 (木)	参考書・辞典の紹介 (実技指導)	
7	9・19 (木)	落款と冠冒印 (実技指導)	
8	10・3 (木)	大学祭出品作品準備	
9	10・17 (木)	年賀状 (実技指導)	
10	11・7 (木)	篆刻について (総まとめ)	

## 206～209 陶 芸

ご縁をいただき、今年度より花木実習施設で陶芸コースを担当させていただくことになりました。施設は定員12名でいっぱいになる程の広さですが、道具や材料などの環境が整っており、大切に使われ、美しく維持されている魅力的な実習会場です。このような環境で陶芸ができることを大変幸せに思います。

受講者の皆さんは初めての方から、市民大学講座を何回か受講しておられる方、また、他の教室で習っておられた方など様々です。そのため、課題意識や面白味を見つけられるよう題材を設定することに気を配りました。

全10回でできることは限られるため、白化粧、織部と鉄絵を取り入れてみましたが、初めての方には少々難しかったのではないかと反省しております。

陶芸は土や材料、釉薬や窯によって同じように作っても焼き上がりが違ってきます。花木実習施設で、講座に来てくださった皆さんとどんなことができるのか、私自身やってみたい事でいっぱいです。どんな風に焼き上がるのか想像しながら工夫していく過程が楽しいのです。毎回、窯出しはドキドキです。

焼き上がった作品はよく眺め、手に取り十分慈しみ、生活の中に入れてあげてください。そして次はどんな風に作ろうかなと思いをめぐらせ、また講座に来てくださいませ。

(中山 朱津子)



中道まり子

回数	月・日 (曜)				学 習 題
	前期A	前期B	後期A	後期B	
1	5・10(金)	5・21(火)	8・30(金)	9・10(火)	焼き物の工程について 玉づくりでつくる (飯碗・マグカップ・スープカップなど)
2	5・17(金)	5・28(火)	9・6(金)	9・17(火)	前回作品の削り仕上げ
3	5・24(金)	6・4(火)	9・13(金)	9・24(火)	板づくり 巻いてつくる (花入れ・ペン立て・マグカップなど)
4	5・31(金)	6・11(火)	9・20(金)	10・1(火)	板づくり (皿・小鉢など) 加飾を楽しむ
5	6・7(金)	6・18(火)	9・27(金)	10・8(火)	自由制作
6	6・14(金)	6・25(火)	10・4(金)	10・15(火)	素焼きの窯づめ 下絵デザイン 土練り 電動ロクロ体験
7	6・21(金)	7・2(火)	10・11(金)	10・22(火)	素焼きの窯出し 下絵付け 釉がけの準備
8	6・28(金)	7・9(火)	10・18(金)	10・29(火)	釉がけについて
9	7・5(金)	7・16(火)	10・25(金)	11・5(火)	釉がけ 本焼き窯づめ
10	7・12(金)	7・23(火)	11・1(金)	11・12(火)	窯出し 作品講評会 作品渡し
講師 富山県工芸作家連盟会員 中山朱津子					

### (3) プラネットコース

#### 301 富山の郷土玩具“土人形”を作ろう

富山の土人形は、江戸末期に作り始められました。明治期には、最盛期を迎え、広く北陸地方に出荷されていました。制作の中心地だった富山市の安野屋町が、戦争の空襲で焼け出されたため、その多くが途絶えてしまいました。渡辺家が、蜷川の最勝寺に土人形の型を疎開させて、戦後における制作へと繋げていただきました。80歳を超えて引退された渡辺先生に、蛇の目土鈴の作り方を教えていただいた時、くるくると手際よく手のひらで粘土を転がされ、即座にまあい土鈴を仕上げてもらわれました。



紫 祐子

来年の干支は、蛇です。受講者の皆様と、たくさんの蛇の目土鈴を作りました。大沢野教室で行っています土人形制作講座は、前半5回は、粘土で型抜きします。自分で形を作るのではなく、二枚の型に込めますので、比較的簡単に制作でき、一回の講座で3個から4個作られる方もおられます。後半の5回は、焼き上げた自分の土人形の彩色になります。一年目の受講者の方は、筆になれない方が多いので、悩まれる方も多いのですが、二年目、三年目になられると、楽しく、自分なりの表現の土人形を楽しんでおられます。

子供の成長を願う天神様やおひな様、厄除けや、招福を願う土人形がたくさんあります。ぜひ、自分の手で、土をこね、彩色をして、自分だけの土人形を作ってみてください。 (古川 圭子)

回数	月・日 (曜)	学 習 題	講 師
1	6・4 (火)	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">粘土</div> 型込めで招き猫、雛人形、天神様などを作る	土人形制作講師 古川 圭子
2	6・18 (火)		
3	7・2 (火)		
4	7・9 (火)		
5	7・23 (火)		
6	9・3 (火)	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">彩色</div> 窯で焼き上げた人形に絵付けする	
7	10・1 (火)		
8	10・22 (火)		
9	10・29 (火)		
10	11・12 (火)		

### 302 日本画（大沢野）

15回の講義を終え、受講者がそれぞれ考えた、描きたい「もの」や「こと」に向かって存分に取り組めたことは嬉しい限りです。初めて日本画材に接する方にとっては、基本的な扱いを覚えるだけで精一杯であることは否めませんが、面倒が故の魅力も感じていただけたのではないかと自負しています。

一般的には、写生などの取材から構想を練り、下図を経て本画に取りかかるため、作品完成までには長い時間を要します。そのため、どう描きたいのかという思いの強さは必要ですが、ひとつひとつ淡々と積み上げていく作業を忍耐強く続ける冷静さも不可欠です。制作途中に独り悩み迷う時には、学び教え合う仲間とのコミュニケーションがお互いを後押ししてくれたようです。そのような雰囲気を作ってくださった皆さんに感謝しています。

日本画の素材や表現方法は多岐にわたり、伝えきれていない魅力がまだまだあります。ボルダリングのように、ひとつの手がかりが力となって自ら気づき、そして次へとつながるよう、教える側も共に学び続けていきたいと思えます。

(網谷 真佐美)



佐藤ひろ子

回数	月・日（曜）	学 習 題	講 師
1	5・2（木）	日本画について（画材等の説明） 鉛筆写生	日展会友 網谷真佐美
2	5・16（木）	鉛筆写生	
3	5・30（木）		
4	6・13（木）	着彩写生	
5	6・27（木）	作品制作の準備、着彩写生	
6	7・4（木）		
7	7・18（木）	小下絵制作（ねらい、構図、色彩計画）	
8	8・1（木）	下図制作	
9	8・8（木）	膠・絵具・胡粉等の扱い方	
10	8・22（木）	骨描き	
11	8・29（木）	作品制作	
12	9・19（木）		
13	10・3（木）		
14	10・17（木）		
15	11・14（木）	作品完成・作品講評	

### 303 うまい水のルーツを探る

本コースでは、常願寺川のさまざまな場所を巡りながら、富山市のうまい水のルーツを探ることを試みました。その中で、常願寺川が実にさまざまな特色を持っている河川であることを、あらためて実感された方も多かったのではないのでしょうか。

コースの前半では、なぜ、日本有数の急流河川が誕生したのかを地質地形の観点から探り、さらに最上流の立山連峰にはどのくらい雪や雨が降り、豊富な水資源となっているのかを気象雪氷の観点から概観しました。これらの特色ある自然が富山市に豊富な水をもたらしていることがよく理解できたかと思います。

しかし、これらの特色ある自然は、時として大きな災害をもたらしました。常願寺川は日本有数の暴れ川といわれますが、その理由は水だけでなく土砂も下流に運び度々大きな災害を起こしてきたからです。江戸時代末に起きた安政の大災害では、地震により立山カルデラで巨大な山崩れが発生し、それに端を発して大土石流が富山平野を襲い未曾有の大災害を引き起こしました。

豊富な水資源が多くの恩恵をもたらす一方、水の脅威との闘いの歴史についても理解を深めていただけたらと思います。

さらに、本コースの大きな特徴は、机上だけでなく実際に現地を訪ねる見学会が多く開講されていることです。治水砂防施設、用水施設、水道施設等を実際に見学することにより、普段何気なく利用している水は、多くの先人たちの知恵と努力によって今を生きる私たちに恩恵を与えてくれていることにも思いを馳せていただけたら幸いです。(飯田 肇)

回数	月・日(曜)	学 習 題	講 師
1	5・9(木)	常願寺川が作る大地のかたち	富山県立山カルデラ砂防博物館 学芸課長補佐 丹保 俊哉
2	5・23(木)	【現地学習】(会場：立山カルデラ砂防博物館) 暴れ川・常願寺川ー治水と砂防の歴史ー	富山県立山カルデラ砂防博物館 学芸員 是松 慧美
3	6・6(木)	【現地学習】(会場：横江頭首工管理事務所ほか) 水との闘いと用水の歴史	常願寺川沿岸用水土地改良区連合 横江頭首工管理事務所 所長 山本 健次
4	6・20(木)	水の源ー立山の雪と氷河を探るー	富山県立山カルデラ砂防博物館 学芸課長 飯田 肇
5	7・11(木)	【現地学習】(会場：常西公園小水力発電所ほか) 上滝地区の治水の歴史	上滝地区観光ボランティアガイドの会 金山 明美
6	9・12(木)	【現地学習】(会場：大山歴史民俗資料館) 富山市民の水がめ：有峰ダムー湖底に沈んだ有峰村ー	大山歴史民俗研究会 山森 潔
7	9・26(木)	世界かんがい施設遺産「常西合口用水」 の歴史	常西用水土地改良区 事務局長 水谷 英二
8	10・10(木)	【現地学習】(会場：上下水道局流杉浄水場) 水道水ができるまで	市上下水道局流杉浄水場 場長 大場 角栄
9	10・24(木)	とやまの水を知ろう／おいしさのワケ	富山県生活環境文化部県民生活課 副主幹 辰尾 朋子
10	11・7(木)	くらしと水ーおいしい水を調べるー	富山国際大学 名誉教授 尾畑 納子

## 304・305 手作り銀粘土アクセサリー

このコースでは、銀粘土という素材を使い、純銀のアクセサリーを作っていただくことができます。

銀粘土とは銀の微粉末と水と結合剤でできた水溶性の粘土です。こねて形を作った粘土を乾燥させて水分をとばし、次に、800℃の電気窯で結合剤を焼き切ることにより純銀の作品となります。

主な工程は、【粘土をこねて形を造る→乾燥→形を整える→焼成→研磨】です。

粘土を乾燥させたあと形を整える作業は、いびつな形やデコボコ、表面にできた傷などを修正するのに金ヤスリやスポンジ研磨剤で整えるのですが、皆さんこの作業に苦戦するためか嫌がられます。乾燥させた粘土はチョークのように少しの衝撃でヒビが入ったり、割れたりするからです。一方で、この特徴は、簡単に模様を削り出し、立体的な彫刻を施すことができるということにもつながります。

一つの作品にじっくり向き合い、丁寧に掘り進めるというもなかなかおもしろいものです。なにかに集中し、没頭したい方、立体彫刻模様の銀物作りはいかがでしょうか。唯一無二の作品となります。

(後藤 千百合)



永瀬 靖子

回数	月・日 (曜)		学 習 題	講 師
	前 期	後 期		
1	5・14 (火)	9・10 (火)	ペンダントトップを作しましょう (1) (デザインを考え造形します)	アクセサリー工房 「ONE PLACE」主宰 後藤千百合
2	5・28 (火)	9・24 (火)	ペンダントトップを作しましょう (2) (焼成し、いぶし仕上げにします)	
3	6・11 (火)	10・8 (火)	指輪を作しましょう (1) (デザインを考え造形します)	
4	6・25 (火)	10・22 (火)	指輪を作しましょう (2) (形成し、焼成します)	
5	7・9 (火)	11・5 (火)	指輪を作しましょう (3) (鏡面に磨きます)	

## 306 飛越往来

### －神通川流域の両生類・爬虫類－

私は「飛越往来」コース開場の富山市猪谷に居住しています。そこで、講義の最初に猪谷の気象、歴史、年間行事そして動物（淡水魚とほ乳類を中心）を簡単に紹介させていただきます。

この地区は、まさしく越中と飛騨の要に位置し、古くから人と物の交流の場所でした。目前には流長と流域面積が県内最大の神通川が流れています。現在はダムで分断されていますが、明治6年に飛騨代官所の富田礼彦が編纂した『斐騨後風土記』の記載（飛騨国の人口、産物、名所が記載されている）を見ると、かつて人と物の交流と同様に富山湾と飛騨地方をサケ、ウナギ、アユ、サクラマスの魚たちがゆうゆうと回遊していたことがわかります。

本題の両生類と爬虫類では、県内には両生類は19種、爬虫類は17種が生息確認され、この中には外来種のウシガエル、ミシシippアカミミガメ、カミツキガメ、ワニガメが含まれています。県東部と県西部、平野部と山地・高山での分布の違いはあるものの、神通川流域には、ワニガメ以外の35種もの多くの種が生息確認されています。多種多様な自然をもつ神通川流域を両生・爬虫類を通して知っていただければと思っています。

また、現在富山県では2002年、2012年に次ぐ3回目の「レッドデータブックとやま」の改訂作業が進行中です。受講される皆さんとともに、県内の両生類・爬虫類が今どのように生活しているのか学び、今後も郷土の自然を大切にしていきたいと思っています。（福田 保）

回数	月・日（曜）	学 習 題	講 師
1	5・8（水）	安永二年富山藩飛州出兵一件	高山市役所 前・文化財課長 尾崎 啓介
2	5・15（水）	飛越国境付近の峠にまつわる話	岐阜県山岳連盟 名誉会長 木下喜代男
3	5・22（水）	高山の商人と富山藩 その4	飛騨歴史民俗学会 会長 福井 重治
4	5・29（水）	加賀藩史料から探る飛越往来	こくふ歴まちネット代表 安国寺住職 堀 祥岳
5	6・12（水）	富山県の石仏たち	日本石仏協会 理事 尾田 武雄
6	6・19（水）	越飛国境地帯の城館と戦国史	とやま歴史的環境づくり研究会 代表 高岡 徹
7	7・10（水）	おわらの変遷	富山県民謡越中八尾おわら保存会 資料編纂部長 嘉藤 稔
8	9・11（水）	神通川流域の両生類・爬虫類	富山県生物学会 会員 福田 保
9	9・25（水）	神通峡の昔むかし	敬和学園大学人文社会科学研究所 客員研究員 藤田富士夫
10	10・2（水）	明治初期の改革と郷土の姿	猪谷関所館 元館長 加藤 敏一

## 開講式・特別講演会



開講式（市民プラザ・アンサンブルホール）

### 特別講演会

講師 富山地方気象台 リスクコミュニケーション推進官  
木津 暢彦 氏

演題 「南極観測越冬隊の1年間  
～地球の裏側で、どうモチベーション  
を維持し続けたか～」



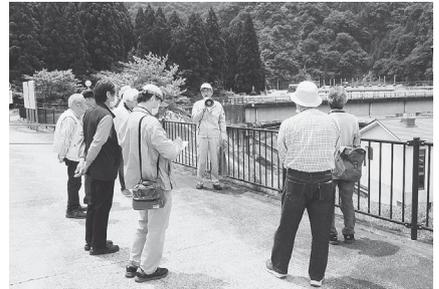
## コース風景



一般「朗読を楽しもう」



プラネット  
「銀粘土アクセサリー」



プラネット  
「うまい水のルーツを探る」(現地学習)



創作「篆刻」



一般  
「スイーツでO・MO・TE・NA・SHI」



一般「川柳を楽しむ」

## 特別講義



演題「災害・相続と法律ーそのときに備えてー」

## わくわくキッズ教室



「たのしい七宝焼」

## 富山市民大学祭



パネル展示



ステージ発表「女声合唱」



ステージ発表「リコーダー演奏を楽しもう」



作品展示



ステージ発表「リズム体操」



体験レッスン「切り絵」



### 特別講演会

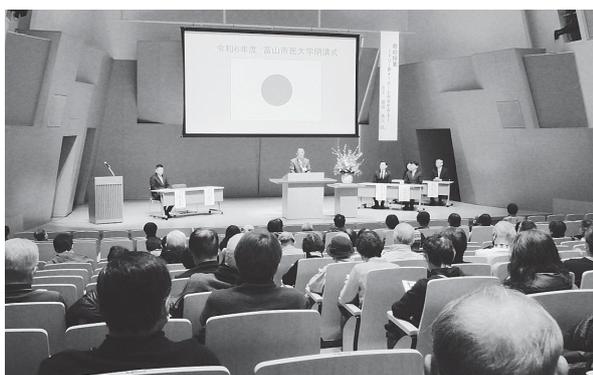
株式会社 能作 代表取締役会長  
能作 克治 氏  
演題「地域と共に生きる  
伝統産業の取り組み」



### 公開講座

富山大学和漢医薬学総合研究所 教授 / 副所長  
東田 千尋 氏  
演題「健康寿命延長と和漢薬」

## 閉講式・特別講演会



閉講式（市民プラザ・アンサンブルホール）



### 特別講演会

講演家  
腰塚 勇人 氏  
演題「命の授業  
～ドリー夢メーカーと今を生きる～」

# 1 富山市市民学習センター運営協議会

## (1) 委員名簿

(委員任期 令和5年7月1日～令和7年6月30日)

No	氏名	役職等	選出区分
1	会長 藤田 公仁子	富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門 教授	有識者
2	職務代理人 木本 秀樹	富山市医師会看護専門学校講師 富山市民大学講師(食と住の文化史、歴史史料をひもとく)	富山市民大学講師
3	布村 昇	金沢大学環日本海域環境研究センター 連携研究員	有識者
4	堀川 教世	富山県立大学地域連携センター所長	有識者
5	森野 かよ子	株式会社 富山市民プラザ 駐車場事業部グラウンドパーキンググループ 駐車場長	有識者
6	大島 麻美	富山市日本画家連盟常任理事 富山市民大学講師(日本画)	富山市民大学講師
7	奥野 美友紀	富山県立大学非常勤講師 富山市民大学講師(江戸時代の文学を読む)	富山市民大学講師
8	永田 円了	富山国際大学元教授 富山市民大学講師(豊かな心)	富山市民大学講師
9	岡田 茂	富山市民大学学友会 会長 令和元年度から富山市民大学受講	富山市民大学受講者
10	高城 喜代子	平成29年度から富山市民大学受講	富山市民大学受講者
11	橘 恵子	平成20年度から富山市民大学受講	富山市民大学受講者
12	山本 弘子	平成28年度から富山市民大学受講	富山市民大学受講者

## (2) 富山市市民学習センター条例・施行規則(平成17年4月1日施行)

### ① 条例抜粋

(運営協議会)

第14条 センターの運営に関し必要な事項を協議するため、富山市市民学習センター運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員の定数は、12人以内とする。

3 協議会の委員は、生涯学習に関し優れた識見を有する者及び生涯学習関係団体等を代表する者のうちから委員会が委嘱する。

4 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(委任)

第15条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

### ② 施行規則抜粋

(協議会)

第6条 条例第14条に規定する富山市市民学習センター運営協議会(以下「協議会」という。)に会長を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 会長に事故があるときは、あらかじめ、会長の指定した委員がその職務を代理する。

(会議)

第7条 協議会は、会長が招集し、その会議の議長となる。

2 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(庶務)

第8条 協議会の庶務は、センターにおいて処理する。

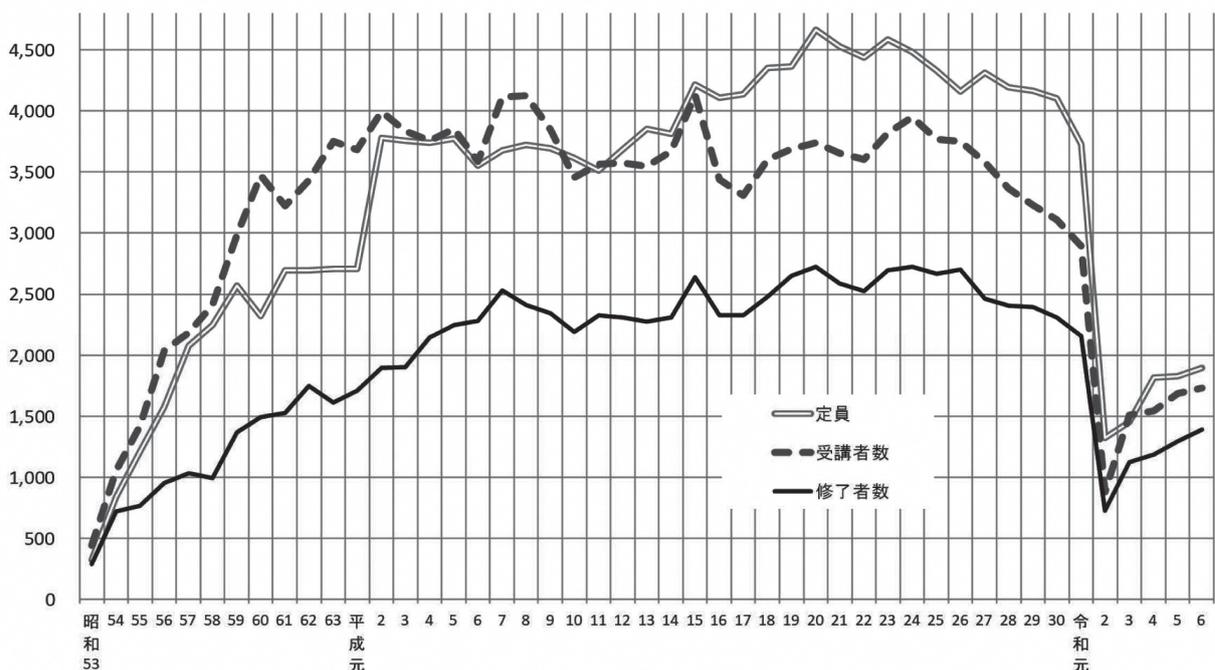
## 2 富山市民大学 受講者数の推移

### ○ 年度別一覧

年度	昭和53	59	60	61	平成元	2	7	16	17	18	19	20	24	25	26
西暦	1978	1984	1985	1986	1989	1990	1995	2004	2005	2006	2007	2008	2012	2013	2014
コース数	8	38	37	48	45	56	52	57	57	63	70	79	79	78	76
定員	320	2,570	2,320	2,695	2,705	3,780	3,676	4,111	4,139	4,354	4,367	4,667	4,482	4,330	4,163
受講者数	444	2,987	3,473	3,222	3,683	3,996	4,118	3,441	3,312	3,607	3,688	3,740	3,950	3,770	3,750
修了者数	291	1,369	1,493	1,525	1,711	1,894	2,532	2,326	2,326	2,480	2,648	2,723	2,727	2,670	2,704
備考		・ガラス工芸コース 新設	・コース数増設		・市民プラザ完成 ・生涯学習都市宣言			・受講料有料化	・新市誕生	・サテライトを新設		・プラネットに改称		・陶芸コース新設 ・受講料改定	

年度	平成27	28	29	30	令和元	2	3	4	5	6
西暦	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
コース数	78	76	77	76	73	48	56	53	53	53
定員	4,313	4,197	4,165	4,107	3,727	1,323	1,451	1,818	1,829	1,894
受講者数	3,583	3,368	3,229	3,109	2,896	878	1,507	1,545	1,685	1,733
修了者数	2,463	2,407	2,394	2,312	2,158	725	1,126	1,187	1,296	1,388
備考					・とやま市民交流館での コースを年度末で移転 ・ガラス工芸コースを年 度末で廃止	・新型コロナウイルス感 染防止のためコースと 定員減 ・受講料改定	・新型コロナウイルス感 染防止のため八・九月 休講、十月再開		・受講申込方法に電子 申請を追加 (令和6年度分)	・富山市ライン公式 アカウントによる 情報配信を開始

### ○ 受講者数及び修了者数等の推移



### 3 富山市民学習センター利用者数の推移

(単位 人)

年度	市民学習センター（市民プラザ内）						国際会議場	CiC	八人町分室	花木分室	合計
	講義室	サークル室	調理室	子どものアトリエ	アートライブラリー	有料施設	メインホール他	学習室 いきいきKAN	実習室	陶芸実習施設	
12 2000	21,665	5,201	1,158	2,174	1,076	14,252			7,509		53,035
13 2001	20,892	5,876	1,249	2,453	809	12,119			7,356		50,754
14 2002	20,957	6,179	1,285	2,624	1,085	12,501			7,516		52,147
15 2003	23,517	6,147	981	2,502	904	12,209			8,190		54,450
16 2004	21,615	5,888	992	2,224	964	10,592		5,630	8,356		56,261
17 2005	21,732	5,565	1,234	2,344	798	10,092		5,543	10,987		58,295
18 2006	21,585	6,223	1,064	2,209	859	10,437		6,091	5,157		53,625
19 2007	22,012	6,085	1,096	2,255	773	11,073		5,759	5,236		54,289
20 2008	20,870	5,620	1,091	2,335	742	11,608		6,851	5,142		54,259
21 2009	20,970	5,485	875	1,837	649	11,070	1,894	5,108	4,061		51,949
22 2010	23,404	4,807	1,171	1,818	978	10,871	600	3,878	4,179		51,706
23 2011	23,980	4,570	1,294	1,620	772	9,734	600	5,043	4,128		51,741
24 2012	25,536	4,503	1,401	1,844	722	13,159	530	4,692	4,398		56,785
25 2013	24,745	4,169	1,147	1,764	704	12,605	607	2,691	3,567	544	52,543
26 2014	23,920	3,914	1,201	1,546	626	11,926	440	3,206	3,201	338	50,318
27 2015	22,896	3,909	1,112	1,715	496	9,300	506	4,710	3,073	342	48,059
28 2016	23,570	3,586	1,293	1,593	537	12,323	470	2,540	2,802	308	49,022
29 2017	25,220	3,601	1,236	1,967	609	12,596	392	1,933	2,596	412	50,562
30 2018	23,360	3,573	1,260	1,747	505	11,917	395	1,844	2,591	421	47,613
R1 2019	22,517	3,481	1,264	1,091	429	11,340	422	485	2,598	442	44,069
R2 2020	5,749	1,835	265	227	236	822				149	9,283
R3 2021	13,290	2,479	611	412	201	4,154				311	21,458
R4 2022	13,423	2,259	583	246	198	4,391				310	21,410
R5 2023	13,862	2,110	669	426	192	4,505				354	22,118
R6 2024	13,093	1,790	517	816	182	5,432				430	22,260

- (注) ・令和6年度は、1月末までの人数。  
 ・講義室は、講義室1・2・3とアトリエの合計人数。  
 ・サークル室は、サークル室1～5の合計人数。  
 ・有料施設は、富山市民プラザ（アンサンブルホール、アトリウム、AVスタジオ、アートギャラリー、マルチスタジオ、練習室、楽屋A・B）の合計人数。  
 ・国際会議場は、メインホールと多目的会議室の合計人数。（令和2年度より利用無し）  
 ・CiCは、平成26年度から3階学習室に5階いきいきKANを加えた合計人数。（令和2年度より利用無し）  
 ・分室人数は、平成17年9月までの丸の内、11月から八人町の利用人数。（令和2年度より利用無し）

## 4 特別講演会一覧表（平成30年度～）

年度	月日	講師	演題	会場
平成30 (2018)	4・13	山梨大学 名誉教授 成瀬 哲生	分かるということーそこはいつもワン ダーランド、富山再発見のためにー	富山国際会議場 メインホール
	11・3	NPO法人富山県防災士会 理事長 小杉 邦夫	災害に備える	山田公民館
	12・1	富山大学大学院医学薬学研究部 (薬学) 教授 藤 秀人	体のリズムと薬物治療	市民プラザ アンサンブルホール
	2・15	富山大学大学院理工学研究部 教授 杉浦 幸之助	南極内陸旅行	市民プラザ アンサンブルホール
令和元 (2019)	4・12	東京大学 名誉教授 今西 典子	ことばの不思議さ	富山国際会議場 メインホール
	11・3	気象予報士・防災士 木地 智美	魅力ある富山の気象と自然 ～地球温暖化で変わる気象災害～	山田公民館
	11・30	富山県中央植物園企画情報課 副主幹 大原 隆明	富山県のサクラ	市民プラザ アンサンブルホール
	2・14	立山ガイド 佐伯 知彦	夢は叶う！ ～世界一の頂からみえたもの～	市民プラザ アンサンブルホール
令和2 (2020)	新型コロナ感染対策のため中止			
令和3 (2021)	4・15	富山大学附属病院総合感染症センター 教授 山本 善裕	感染対策を正しく学ぼう！ ～新型コロナウイルス感染症を中心に～	市民プラザ アンサンブルホール
	11・3	落語家 越中家 漫欽丹	笑いは人生の特効薬	山田公民館
	11・27	気象予報士・防災士 木地 智美	美しい富山の空と温暖化で変わる 気象災害	市民プラザ アンサンブルホール
	2・14	富山大学 名誉教授 北村 潔和	一生涯を自立してすごすためには	市民プラザ アンサンブルホール
令和4 (2022)	4・15	俳優 朗読座主宰 紺野 美沙子	心に響く言葉を伝えよう ー朗読とととにー	市民プラザ アンサンブルホール
	11・3	北日本放送パーソナリティ 鍋田 恭子	笑いコミュニケーション	山田公民館
	11・19	世界最高齢女性クロスカントリースキーヤー 佐伯 克美	今日と同じ明日のために	市民プラザ アンサンブルホール
	2・10	富山大学学術研究部教養教育学系 准教授 水野 真理子	富山のコスモポリタン ー翁 久允の軌跡	市民プラザ アンサンブルホール
令和5 (2023)	4・17	プロフェッショナルラグビーコーチ 大西 一平	「自分づくりと仲間づくり、健康づ くりが未来を変える」ラグビー編	市民プラザ アンサンブルホール
	11・3	落語家 三遊亭 良楽	～笑いコミュニケーション～	山田公民館
	11・30	株式会社カターレ富山 代表取締役社長 左伴 繁雄	地域とともに歩む ～県民クラブとしての成長を～	市民プラザ アンサンブルホール
	2・9	落語家 柳家 さん生	落語で紡ぐ故郷への思い ー「とやま噺」創作への挑戦ー	市民プラザ アンサンブルホール
令和6 (2024)	4・17	富山地方気象台 リスクコミュニケーション推進官 木津 暢彦	南極観測越冬隊の1年間 ～地球の裏側で、どうモチベーションを維持し続けたか～	市民プラザ アンサンブルホール
	11・3	落語家 桂 米福	～笑いは健康の特効薬～	山田公民館
	11・30	(株)能作 代表取締役会長 能作 克治	地域と共に生きる 伝統産業の取り組み	市民プラザ アンサンブルホール
	1・30	講演家 腰塚 勇人	命の授業 ～ドリー夢メーカーと今を生きる～	市民プラザ アンサンブルホール

## 5 叢書一覧表

番号	講師	演題	発行日	番号	講師	演題	発行日
1	山崎 正和	社交と日本文化	昭 54. 11. 10	25	宮島 春彦	芝居の魅力 －佐々成政の劇化をしつつ－	平 元. 3. 31
2	馬場あき子	女歌の世界	昭 55. 11. 10	26	芳賀 登	近代日本の女性の生き方	平 元. 3. 31
3	加藤 秀俊	二十一世紀の日本文化	昭 56. 3. 31	27	頼 新	頼山陽とその志業について	平 元. 3. 31
4	角田 房子	私たちの時代の歴史	昭 57. 3. 30	28	生江 義男	戦後教育の回想と展望	平 2. 3. 31
5	山崎 正和	地域の時代の文化	昭 57. 3. 31	29	木田 宏	情報化時代と教育	平 2. 3. 31
6	佐伯 彰一	外から見た日本文学	昭 58. 3. 31	30	大輪 靖宏	江戸文学にみる人間の生き方 －雨月物語を中心に－	平 2. 3. 31
7	中西 進	家持における伝統と創造	昭 58. 3. 31	31	犬養 智子	女 いまステキ人生 －女性から変わる価値観－	平 2. 3. 31
8	吉田 健三	国際化時代の日本	昭 58. 3. 31	32	松山 利夫	環境と文化 －民族学の立場から－	平 2. 8. 31
9	杉本 邦子	小寺菊子 －人と文学－	昭 59. 3. 31	33	三善 晃	なぜ私たちは歌うのか	平 2. 8. 31
10	木村 治美	心の時代・ことばの時代	昭 59. 3. 31	34	水津 一郎	ヨーロッパと日本の間 －文化地理学的再考－	平 3. 3. 31
11	馬場あき子	文学のこころ	昭 60. 3. 31	35	藤原 てい	生きる －私の歩いた道を通して－	平 3. 3. 31
12	村山 古郷	郷土の文 学素琴	昭 60. 3. 31	36	上山 春平	日本の文明史について	平 3. 9. 30
	志田 延義	志田義秀 をしのぶ		恩師 素琴 志田義 秀先生の師徳をし のんで	37	瀬沼 克彰	生涯学習時代の到来 －今、どう実践するか－
13	森本 哲郎	旅先から見た日本	昭 60. 3. 31	38	古屋 和雄	幸せって何だろう？	平 4. 3. 31
14	大河原良雄	アメリカから観る日本	昭 61. 3. 31	39	平沢彌一郎	足の裏は語る －現代人の健康と寿命－	平 4. 11. 16
15	辺見じゅん	父 角川源義を語る	昭 61. 3. 31	40	高田 好胤	日本の心	平 4. 12. 13
16	野村 万作	狂言の面白さ	昭 62. 3. 31	41	犬養 廉	小倉百人一首と歌がるた －みやびの伝統－	平 5. 3. 31
17	日下 公人	ソフトに考えよう未来	昭 62. 3. 31	42	盛永 宗興	無生死の道	平 5. 3. 31
18	李 芒	中国人の見た日本文学	昭 62. 3. 31	43	吉村 作治	古代エジプトの謎	平 6. 2. 28
19	黒岩 重吾	源氏鶏太氏を語る	昭 62. 3. 31	44	菅原真理子	高齢化社会と学ぶよろこび	平 5. 12. 1
20	鈴木 忠志	国際化時代の文化	昭 62. 3. 31	45	千葉 熈	中国の皇帝と后妃	平 6. 3. 31
21	木崎さと子	生きること信ずること	昭 63. 3. 31	46	弓場 通義	海から学んだ私の宝物	平 6. 3. 31
22	真継 伸彦	日本人のこころ －信仰のすがた－	昭 63. 3. 31	47	古田 武彦	古代航海と日本海文明	平 7. 2. 20
23	廣瀬 誠	郷土の先賢 内山逸峰・	昭 63. 3. 31	48	久世 光彦	普通に生きる －向田邦子の人と作品－	平 7. 3. 20
	内山 協一	内山外川を しのぶ		内山逸峰・内山外川 から学ぶもの	49	木田 元	闇屋から哲学へ －人はいかにして哲学しはじめるか－
24	菊地龍三郎	地域の教育力と青少年の育成	平 元. 3. 31	50	中西 進	現代文明と古代	平 7. 12. 20

番号	講師	演題	発行日
51	ひろさちや	もう一つの物差し	平 8.3.31
52	守屋 洋	中国古典に学ぶ人間学	平 8.7.20
53	中村 元	動物から学ぶ	平 8.12.5
54	舛方 勝宏	人生 遠まわり	平 9.3.31
55	矢崎 節夫	金子みすゞの宇宙 ーみんなちがって みんないいー	平 9.7.7
56	田上 恵	痛みからの解放	平 9.7.7
57	高橋 誠	生き生き人生の特効薬は 「独創丸」	平 10.6.30
58	吉永みち子	共生時代の男と女	平 10.9.24
59	藤井 一二	大伴家持の越中・能登紀行	平 11.11.1
60	佐原 真	大昔と私たち	平 11.12.1
61	中西 智海	こころの花びら	平 12.9.1
62	中田 善夫	シドニー、国体そして21世紀	平 13.3.31
63	稲本 正	森と人の未来	平 13.10.1
64	左 時枝	花と芝居と私	平 13.11.15
65	大星 光史	心の癒しと文芸	平 14.10.1
66	松井 治伸	くらしの目線で見えること	平 15.3.31
67	本木 克英	喜劇映画のできるまで	平 16.2.1
68	高野 悦子	私のシネマライフ	平 15.12.1
69	童門 冬二	戦国武将に学ぶ知恵	平 17.2.25
70	山田 法胤	心やわらかに 今を生きる	平 17.3.31
71	永井 美之	感染症に備える	平 18.1.31
72	高田 宏	ふるさと北陸に心寄せて	平 18.2.23
73	田辺 鶴英	鶴英ちゃんの修羅場介護日記	平 19.2.23
74	金田一秀穂	心地よい 日本語	平 19.3.30
75	黒岩 祐治	どうなる日本	平 19.7.31
76	高田 明和	中高年の危機「脳は若返る」	平 20.3.30

番号	講師	演題	発行日
77	正高 信男	考えないヒト	平 20.7.31
78	山口 仲美	ここが面白い 日本語の歴史	平 21.3.31
79	山本 博文	忠臣蔵の真実	平 22.3.30
80	林 成之	脳の本質から学ぶ 違いを 認めて共に生きる幸せ	平 22.3.31
81	井波 律子	中国古典小説の愉しき世界 ー「三国志演義」「西遊記」「水滸伝」 「金瓶梅」「紅樓夢」ー	平 22.7.31
82	山田 敏弘	富山方言を通してみる遠い 縁・近い縁	平 23.3.31
83	渡辺 房男	「時を読み、時を乗り越える」 安田善次郎の経済哲学	平 23.7.31
84	見瀬 和雄	富山藩と加賀藩 ー分家の歩んだ道のりー	平 24.6.30
85	本川 裕	北前船経済圏の歴史的意義 ー統計データ分析家によるルーツ探訪ー	平 25.7.31
86	隈 研吾	場所の力	平 26.3.31
87	高木 千恵	地域方言の現在 ーことばの地域差とその変容ー	平 26.11.25
88	佐藤 勝明	芭蕉の編集力	平 27.9.15
89	綿拔 豊昭	江戸の「百人一首」	平 28.9.1
90	玉城 司	真田丸余興 ー戦場からの手紙ー	平 29.9.30
91	成瀬 哲生	分かるということ ーそこはいつもワンダーランド、 富山再発見のためにー	平 30.9.1
92	今西 典子	ことばの不思議さ	令 元.10.1
93	山本 善裕	感染対策を正しく学ぼう！ ー新型コロナウイルス感染症を 中心にー	令 3.8.1
94	紺野美沙子	心に響く言葉を伝えよう ー朗読とともにー	令 4.8.31
95	大西 一平	「自分づくりと仲間づくり、健 康づくりが未来を変える」 ラグビー編	令 5.8.31
96	木津 暢彦	南極観測越冬隊の1年間 ー地球の裏側で、どうモチベー ションを維持し続けたかー	令 6.9.30

## 6 沿革

### (1) 歴代所長一覧

年 度	西 暦	施設名	所管（長）	
			役 職	氏 名
昭和53	1978	—	社会教育課課長	稲 垣 剛 一
昭和54	1979	—	〃	田 中 正 信
昭和55～63	1980～1988	社会教育センター	所 長	伊 藤 了 一
平成元	1989	〃	〃	新 藤 正 夫
平成2	1990	市民学習センター	〃	〃
平成3～4	1991～1992	〃	〃	須 山 盛 彰
平成5～6	1993～1994	〃	〃	山 田 時 夫
平成7～8	1995～1996	〃	〃	笹 岡 正 毅
平成9～11	1997～1999	〃	〃	武 内 律 馬
平成12～14	2000～2002	〃	〃	鷺 本 義 昌
平成15～16	2003～2004	〃	〃	島 輝 雄
平成17～18	2005～2006	〃	〃	高 木 義 和
平成19	2007	〃	〃	奥 井 輝 男
平成20～23	2008～2011	〃	〃	西 田 良 正
平成24～26	2012～2014	〃	〃	島 田 芳 一
平成27～29	2015～2017	〃	〃	中 道 文 夫
平成30～令和2	2018～2020	〃	〃	古 木 繁 行
令和3～5	2021～2023	〃	〃	水 上 豊
令和6～	2024～	〃	〃	大 久 保 秀 俊

## (2) 年度別事業概要

年 度	富山市民大学				特別講義等	施設・運営等
	回	受講者数 (人)	コース 数	コース 内 訳		
昭和 53 (1978)	1	444	8			<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回富山市民大学開講 (7月1日) (会場：市公会堂別館・市立図書館)</li> </ul>
54 (1979)	2	1,057	15			
55 (1980)	3	1,417	21	18コース 3サークル		<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育センターを富山市公会堂別館内に設置</li> <li>・富山市中央公民館を市立図書館より同館内に移転</li> <li>・社会教育センター併設</li> <li>・「紀要」発刊</li> </ul>
56 (1981)	4	2,037	24	21コース (外国語コース含) 3サークル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚・聴覚障害者コース開設(平成6年度まで継続)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富山市民大学運営協議会設置(6月1日)</li> <li>・富山市民大学学友会発足(6月25日)</li> <li>・富山市中央公民館廃止(3月末日)社会教育センターが公民館事業継続</li> <li>・第1回 富山市民大学祭</li> <li>・学友会「けやき」創刊号発刊</li> </ul>
57 (1982)	5	2,184	28	21コース 3サークル 4セミナー		
58 (1983)	6	2,412	31	22コース 3サークル 2セミナー 実務英語 4コース		
59 (1984)	7	2,987	38	25コース 3セミナー 専門英語 10コース		<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場：市民学習センター・公会堂別館</li> <li>・旧市民病院建物をリニューアルして、「市民学習センター」が完成</li> <li>・同館内に社会教育センターを移転(4月1日)</li> </ul>
60 (1985)	8	3,473	37	28コース 5セミナー ガラス工芸 4コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガラス工芸コース開設(令和元年度まで継続)</li> <li>・特別講義開始</li> </ul>	
61 (1986)	9	3,222	48	32コース 5セミナー ガラス工芸 11コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み親子ガラス工芸教室開始(平成元年度まで継続)</li> </ul>	
62 (1987)	10	3,435	50	33コース 5セミナー ガラス工芸 12コース		<ul style="list-style-type: none"> <li>・富山市立図書館へ社会教育センターを移転</li> <li>・市民大学開設10周年記念事業：「富山市民大学の歌」制定・発表(発表会10月23日)</li> </ul>
63 (1988)	11	3,752	47	30コース 5セミナー ガラス工芸 12コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏期特別講義</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般コース・セミナー会場：公会堂・市立図書館</li> </ul>

年 度	富山市民大学			特別講義等	施設・運営等	
	回	受講者数 (人)	コース 数			コース 内 訳
平成 元 (1989)	12	3,683	45	28コース 5セミナー ガラス工芸 12コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休み親子ガラス工芸教室終了(年度末)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガラス工芸コースを分室(市第一勤労青少年ホーム)へ移転</li> <li>富山市制「100年」100周年記念事業</li> <li>「生涯学習都市宣言」(12月15日)</li> <li>市民プラザ完成、同内に社会教育センター移転</li> <li>アート・ライブラリー設置</li> <li>「紀要」を「学報」に改称</li> </ul>
2 (1990)	13	3,996	56	34コース 8セミナー ガラス工芸 14コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域講座開始(平成9年まで継続)</li> <li>親子造形教室開始(平成26年まで継続)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般コース・セミナー会場:富山市民プラザ</li> <li>機構改革により社会教育センターを市民学習センターに名称変更</li> </ul>
3 (1991)	14	3,835	55	33コース 8セミナー ガラス工芸 14コース		
4 (1992)	15	3,759	55	33コース 8セミナー ガラス工芸 14コース		<ul style="list-style-type: none"> <li>市民学習センター分室を「市第一勤労青少年ホーム」から「丸の内旧市消防署分庁舎」へ移転</li> </ul>
5 (1993)	16	3,857	53	33コース 8セミナー ガラス工芸 12コース		
6 (1994)	17	3,587	54	33コース 9セミナー ガラス工芸 12コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>視覚・聴覚障害者コース終了(年度末)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第6回全国生涯学習フェスティバル「まなびピアとやま'94」に参加</li> </ul>
7 (1995)	18	4,118	52	一般32 専門8 ガラス工芸12	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者夜間創作工芸講座(試行)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セミナーを専門と名称変更</li> <li>単位制導入(専門コース)</li> <li>修了証の廃止(一般・ガラス工芸コース)</li> </ul>
8 (1996)	19	4,126	52	一般32 専門8 ガラス工芸12	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者夜間創作工芸講座開始(平成21年まで継続)</li> <li>聴覚障害者生涯学習コースの再設、終了</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>託児制度の導入(リズム体操コース。平成26年まで1～3コースで継続)</li> </ul>
9 (1997)	20	3,850	52	一般32 専門8 ガラス工芸12	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域講座終了(年度末)</li> <li>夏休み中学生工芸教室開始(平成12年まで継続)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民大学20周年記念事業:市民大学永年講師感謝状贈呈、特別講演会</li> </ul>
10 (1998)	21	3,456	53	一般35 専修6 ガラス工芸12		<ul style="list-style-type: none"> <li>前期・後期制廃止、修了証廃止(専修コース)</li> <li>専門コースを専修コースへ名称変更</li> </ul>
平成 11 (1999)	22	3,563	54	一般31 専修5 創作6 ガラス工芸12		
12 (2000)	23	3,575	53	一般31 専修4 創作6 ガラス工芸12	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休み中学生工芸教室終了(年度末)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第20回 富山市民大学祭記念として、第1回市役所展示会(平成16年まで継続)</li> </ul>
13 (2001)	24	3,548	55	一般37 創作6 ガラス工芸12	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休み中学生ガラス工芸教室開始(平成27年まで継続)</li> </ul>	

年 度	富山市民大学				特別講義等	施設・運営等
	回	受講者数 (人)	コース数	コース 内 訳		
平成 14 (2002)	25	3,673	55	一般37 創作6 ガラス工芸12		
15 (2003)	26	4,131	56	一般38 創作6 ガラス工芸12		
16 (2004)	27	3,441	57	一般39 創作6 ガラス工芸12		<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講料有料化</li> <li>・一般7コースをとやま市民交流館(CiCビル3階)で開設(令和元年まで継続)</li> <li>・市民学習センター分室を八人町小学校へ移転する準備</li> <li>・富山市と6町村合併に伴う準備</li> </ul>
17 (2005)	28	3,312	57	一般39 創作6 ガラス工芸12		<ul style="list-style-type: none"> <li>・富山市民学習センター条例・施行規則制定</li> <li>・富山市民学習センター運営協議会設置</li> <li>・市民学習センター分室(ガラス工芸)を移転(旧八人町小学校)</li> <li>・第25回 富山市民大学祭(新市誕生・学友会発足25年記念。婦中・八尾・細入地区からも出展、ステージ発表)</li> <li>・大沢野・婦中生涯学習フェスティバルへ出展、ステージ発表</li> </ul>
18 (2006)	29	3,607	63	一般38 創作6 ガラス工芸15 サテライト4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大沢野・大山・八尾・婦中にサテライト1コース新設</li> <li>・第26回 富山市民大学祭(婦中・八尾・大沢野地区からも出展、ステージ発表)</li> <li>・大沢野・婦中生涯学習フェスティバルへ参加、パネル展示</li> </ul>
19 (2007)	30	3,688	70	一般38 創作6 ガラス工芸15 サテライト11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子かがやきネット教室開始(平成20年まで継続)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大沢野・婦中生涯学習フェスティバルへ参加、パネル展示</li> <li>・市民大学開設30周年記念式典</li> </ul>
20 (2008)	31	3,740	79	一般38 創作6 ガラス工芸15 プラネット20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子かがやきネット教室終了(年度末)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サテライトからプラネット(6か所)へ名称変更</li> <li>・大沢野生涯学習フェスティバル・八尾・山田の各文化祭に参加</li> </ul>
21 (2009)	32	3,653	80	一般39 創作6 ガラス工芸15 プラネット20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者夜間創作工芸講座終了(年度末)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界自然・野生生物映像祭作品鑑賞</li> </ul>
22 (2010)	33	3,603	79	一般38 創作6 ガラス工芸15 プラネット20		<ul style="list-style-type: none"> <li>・第30回 富山市民大学祭(学友会発足30年記念)</li> </ul>
23 (2011)	34	3,820	80	一般39 創作6 ガラス工芸15 プラネット20		
24 (2012)	35	3,950	79	一般40 創作6 ガラス工芸15 プラネット18		<ul style="list-style-type: none"> <li>・富山市民大学陶芸施設を花木に建設(平成25年度開設準備)</li> </ul>

年 度	富山市民大学				特別講義等	施設・運営等
	回	受講者数 (人)	コース 数	コース 内 訳		
平成 25 (2013)	36	3,770	78	一般39 創作10 ガラス工芸10 プラネット19		<ul style="list-style-type: none"> <li>受講料改定</li> <li>陶芸実習施設を開設し、陶芸4コース開設（富山市花木28）</li> </ul>
26 (2014)	37	3,750	76	一般40 創作10 ガラス工芸6 プラネット20	<ul style="list-style-type: none"> <li>親子造形教室終了（年度末）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1コースをいきいき KAN で開設（平成28年度まで継続）</li> </ul>
27 (2015)	38	3,583	78	一般43 創作11 ガラス工芸6 プラネット18	<ul style="list-style-type: none"> <li>わくわくキッズ教室開始</li> <li>夏休み中学生ガラス工芸教室終了（年度末）</li> </ul>	
28 (2016)	39	3,368	76	一般43 創作11 ガラス工芸6 プラネット16	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休み小・中学生ガラス工芸教室開始（令和元年度まで継続）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>託児制度廃止（年度末）</li> </ul>
29 (2017)	40	3,229	77	一般44 創作11 ガラス工芸6 プラネット16		<ul style="list-style-type: none"> <li>閉講式において、市民大学開設40周年記念永年就任講師感謝状授与式</li> </ul>
30 (2018)	41	3,109	76	一般43 創作11 ガラス工芸6 プラネット16		
令和 元 (2019)	42	2,896	73	一般41 創作11 ガラス工芸6 プラネット15	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休み小・中学生ガラス工芸教室終了（年度末）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民学習センター分室（ガラス工芸コース）を年度末で廃止</li> <li>とやま市民交流館での講座を年度末で市民学習センターへ移動</li> </ul>
2 (2020)	43	878	48	一般32 創作7 プラネット9		<ul style="list-style-type: none"> <li>受講料改定</li> <li>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前期の講座及び、開・閉講式、第40回市民大学祭、特別講義、わくわくキッズ教室等を中止。</li> <li>講座は後期のみ開講</li> </ul>
3 (2021)	44	1,507	56	一般37 創作9 プラネット10		<ul style="list-style-type: none"> <li>開・閉講式、特別講義、わくわくキッズ教室等を再開。</li> <li>前期・後期の講座を開催。8、9月は感染症拡大のため中止し、10月より再開、1月終了。</li> <li>富山市民大学祭を再開。（ステージ発表・体験レッスンは中止）</li> </ul>
4 (2022)	45	1,545	53	一般37 創作9 プラネット7		<ul style="list-style-type: none"> <li>富山市民大学祭において、ステージ発表、体験レッスンを復活。</li> </ul>
5 (2023)	46	1,685	53	一般37 創作9 プラネット7		<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度分の受講申込からインターネットによる申込受付を開始。</li> </ul>
6 (2024)	47	1,733	53	一般38 創作9 プラネット6		<ul style="list-style-type: none"> <li>富山市民 LINE 公式アカウントによるイベント等の情報配信を開始。</li> </ul>